

2022年度

お客さま本位の業務運営にかかる 取組状況

2023年6月



お問い合わせ先

百五銀行 営業開発部預り資産課
059-223-2315



お問い合わせ先

百五証券 営業企画部
059-222-2105

お客さま本位の業務運営宣言

百五銀行と百五証券は、企業理念に則り、金融商品販売において、お客さま本位の業務運営を行い、お客さまに有益な資産形成に資する取組を行うこととお約束いたします。

- 金融庁が公表した「顧客本位の業務運営に関する原則（2021年1月15日改訂）」に則り、百五銀行と百五証券は、取組方針を定め、お客さまの声を反映しながら、取組状況を定期的に公表しております。
- 取組方針に表示している【原則 2 ～ 7（これらに付されている（注）を含む）】は、以下の通り「顧客本位の業務運営に関する原則（2021年1月15日改訂）」に対応しています。[金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係表（詳細）はこちら](#)
- 2022年度の取組状況については、取組方針ごとに具体的な取り組みについて記載しています。

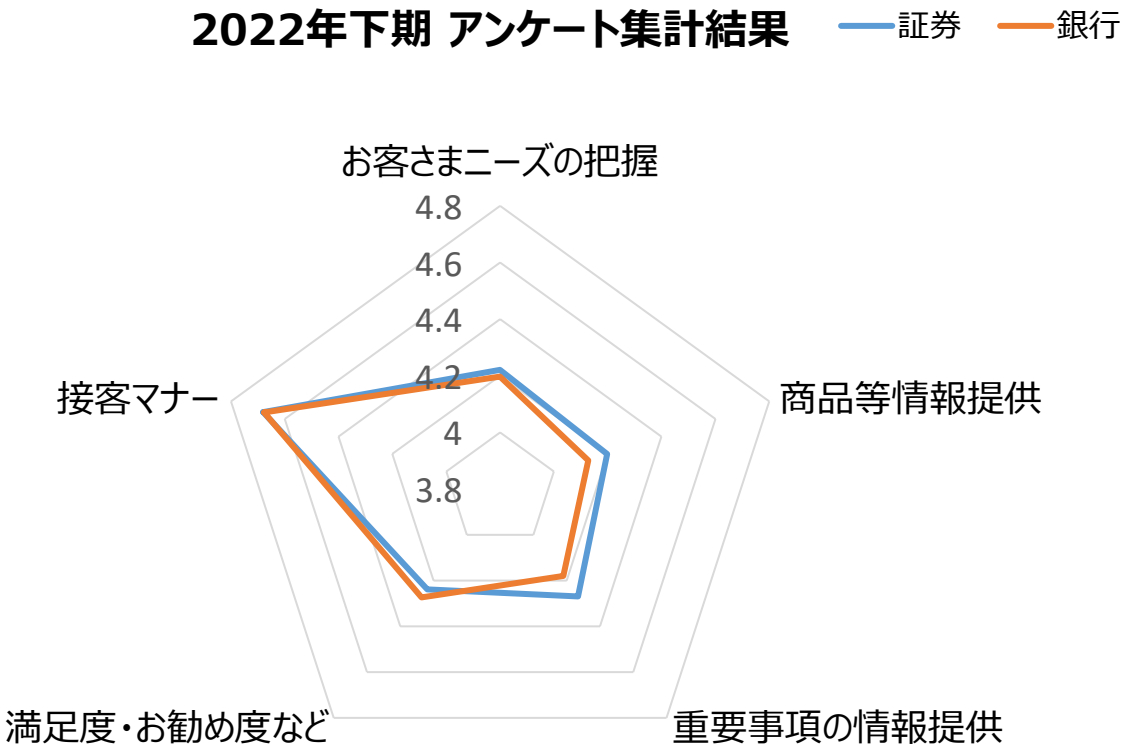
	金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応
「お客さま本位の業務運営」～3つの約束～	原則 2、原則 2（注）
お客さま本位の業務運営の取組方針	
1. お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。	原則 2（注） 原則 3、原則 3（注） 原則 6、原則 6（注 2・3）
2. コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。	原則 5、原則 5（注 1・2・3・4・5） 原則 6、原則 6（注 1・2・3・4・5）
3. お客さまにご負担いただく手数料をはじめ、投資のご判断にかかる重要な情報について、わかりやすい説明を行います。	原則 4 原則 5、原則 5（注 1・2・3・4・5） 原則 6（注 1・2・3）
4. グループ総合力を活用し金融サービス提供体制を整備します。	原則 2、原則 2（注） 原則 6、原則 6（注 2・3）
5. お客さま本位の営業体制を整備します。	原則 2 原則 7、原則 7（注）

お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則 2、原則 2（注）]

- 【お客さまアンケートの実施】
- 百五銀行・百五証券では、2022年12月1日から2023年2月28日の期間に投資信託をご購入いただいたお客さまに対して「お客さまアンケート」を実施し、お客さまからご提案内容に対するご評価、様々なご意見、ご要望をいただきました。

●回答数は百五銀行351通、百五証券284通でした。



投資信託ご購入のお客さまへ アンケートのお願い

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
このたびは、百五銀行で金融商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
さて、百五銀行では、「お客さま本位の業務運営宣言」～3つの約束～を公表しており、販売担当者がお客さまに実践できていることを確認し、お客さまのご意見やご要望をお伺いすることで、取組を一層向上するためにアンケートを実施いたします。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。
※「お客さま本位の業務運営宣言」は当行のホームページ
(https://www.hyakugo.co.jp/gyomu/jumel_sengen/)にてご確認ください。
◆今回のアンケートは、2022年12月～2月中旬に当行で投資信託をご購入いただいたお客さまへお送りしております。

		※該当する項目に○印をお願いします。			
質問事項		満足 (はい)	やや満足	やや不満	不満 (いいえ)
お客さまのニーズの把握	お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況、投資目的などについて十分確認がありましたか。				
	当行の取扱商品は、お客さまのニーズにお応えできる品揃えでしたか。				
	担当者は、お客さまのご意向を十分お聞きしたうえで、商品の提案をしていましたか。				
商品等情報提供	商品の内容（仕組み・特性）や運用状況、投資対象などについて、十分な情報提供がありましたか。				
	ご提案の際に、経済や市場動向などについて、十分な情報提供がありましたか。				
	投資信託にかかる税金や税制などについて、十分な情報提供がありましたか。				

＜お客さまから頂戴した主なご意見＞

- 相場下落時に連絡をいただいて、安心した。
- 運用損益などきめ細かくフォローしてもらい感謝している。
- コロナ禍で中止となっている資産運用セミナーの再開を希望する。
- 幅広い商品ラインアップの充実
- 証券でインターネット取引ができるようにしてほしい

※アンケート各項目の回答について、満足：5、やや満足：3、やや不満：1、不満：0として加重平均により集計を行ったものを数値化しています。

お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則2、原則2（注）]

【提案機会の増加と質の向上によるお客さま本位の業務運営の実践】

- これまで以上にお客さまの幅広いニーズにお応えしつつ、お客さま満足度の向上を目指し、2022年4月に預り資産営業拠点（対面・非対面）を強化しました。

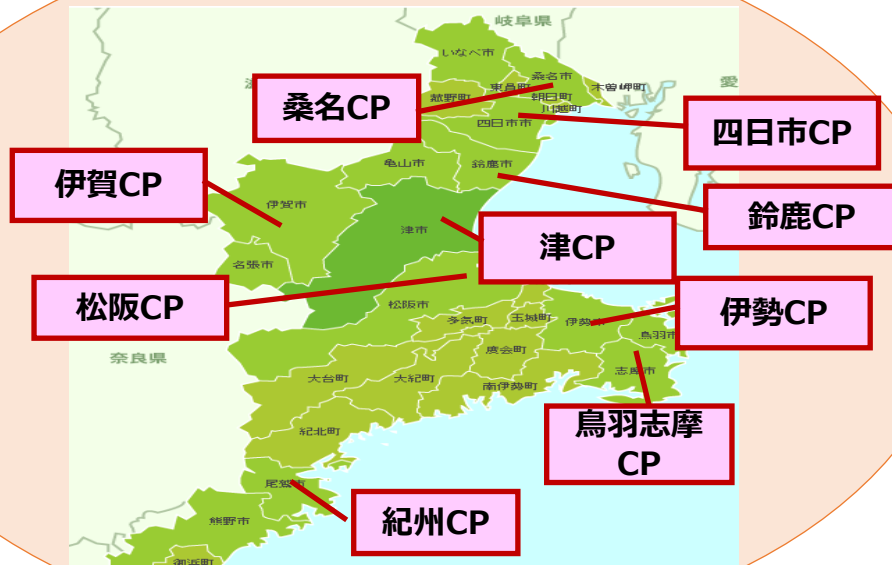
<対面拠点強化>

- 三重県内9拠点に預り資産専門拠点であるコンサルプラザ（CP）を新設し、預り資産担当者のコンサルティング営業を強化しました。
- 営業拠点に関しては、百五証券支店・営業所と併設とすることで、百五証券との連携力を強化しました。

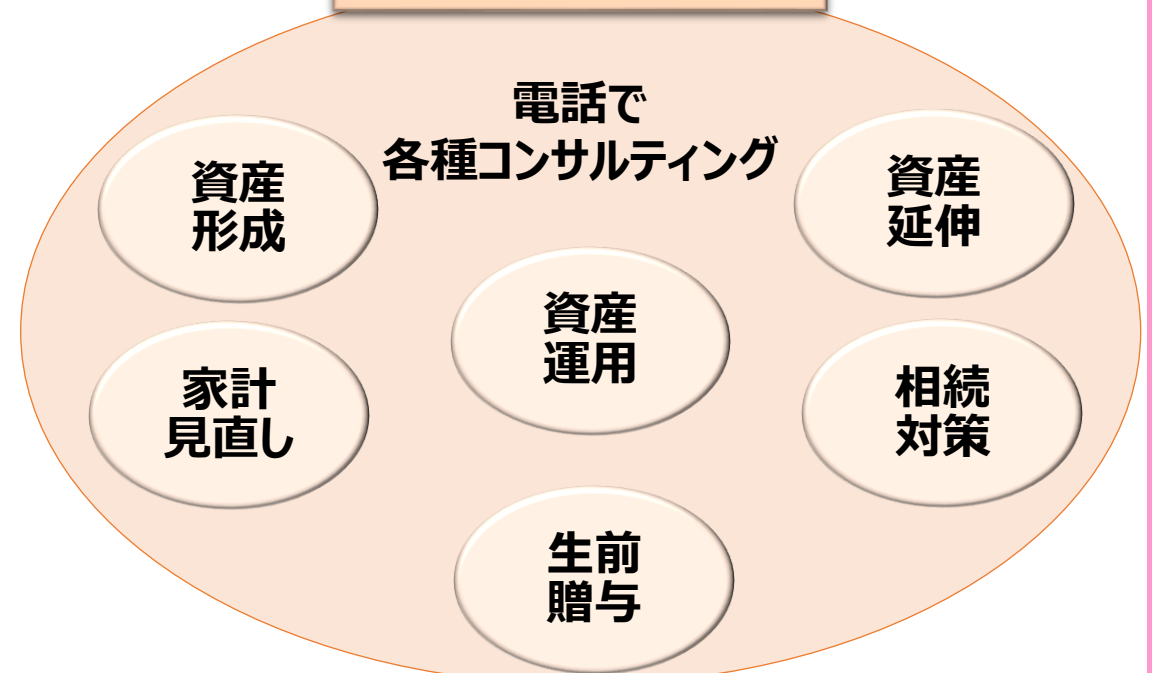
<非対面拠点強化>

- 新たに預り資産センターを新設しました。預り資産センターでは、お客さまのニーズに応じて、電話にて各種コンサルティングを行っています。

コンサルプラザ（CP） ～対面営業強化～



預り資産センター ～非対面営業強化～



お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則2、原則2（注）]

【百五証券でのお客さまの声に応える取組】

●これまでのお客さまアンケートや日頃の皆様のご意見にお応えすべく、様々な取り組みを行っています。

【有益な情報提供と適切なアフターフォロー】

- 投資環境やマーケットに関する情報提供の質を向上するため、QUICK社が提供するアナリストレポートの活用を開始しました。

～詳細はP.16参照～

【わかりやすい投信提案】

- 投資信託の比較、組み合わせ、運用実績などを面談時にわかりやすくお示しするようタブレットアプリを改善。
- ウェルスアドバイザーズ社（旧モーニングスター社）の提供する情報コンテンツを活用し、視覚的にわかりやすい提案・アフターフォローを行える体制としました。

～詳細はP.9参照～

【お客さまに寄り添ったご提案】

- お客さまの状況を適切に把握し、最適な資産運用プランをご提供するため、お客さまのご意向やニーズ、全体の保有資産、ご家族構成、ライフプランや資産承継に対するお考えなどをしっかりと伺いすることを、社内活動方針として再徹底いたしました。

【ネットサービス充実】

- インターネットでの売買取引を希望される声が多く、インターネットサービス拡充の検討を開始しています。
- 百五証券ホームページの全面リニューアルを行い、様々な情報発信を充実しています。

～詳細はP.9参照～

商品ラインアップの充実化

[原則 6]

- グループ全体でお客さまの多様なニーズに応えるため、商品ラインアップの充実に努めています。
- 商品の選定については、ニーズに加えて経済情勢や市場動向も踏まえ、幅広い運用会社や保険会社の商品の中から検討しています。

【2022年度の新規取扱商品数】

投資信託：内外株式2商品、海外株式1商品、内外債券1商品

保険：年金・終身4商品、事業性1商品、保障性：2商品

◆百五銀行

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	3	1.8%	国内 R E I T	2	1.2%	ノーロードファンド	45
内外・海外債券	30	17.9%	内外・海外 R E I T	4	2.4%	インデックスファンド	29
国内株式	20	11.9%	バランス	52	31.0%	販売停止	1
内外・海外株式	56	33.3%	その他	1	0.6%	合計	168

保険カテゴリー別商品数（種類別）

個人年金（一時払）	5	5.7%	定期保険（収入保障保険含む）	35	40.2%	※うち事業性保険	40
個人年金（平準払）	4	4.6%	医療保険（就業不能保険含む）	15	17.2%	合計	87
終身保険（一時払）	16	18.4%	がん保険	4	4.6%		
終身保険（平準払）	5	5.7%	傷害保険	1	1.1%		
学資保険	1	1.1%	火災保険	1	1.1%		

商品ラインアップの充実化

[原則 6]

- 証券会社として、幅広い資産運用ニーズに適切に応えるため、百五銀行よりも豊富な投資信託商品を揃えています。
- 商品の選定については、ニーズに加えて経済情勢や市場動向も踏まえ、幅広い運用会社の商品の中から検討しています。

【2022年度の新規取扱商品数】

投資信託：国内株式3商品、海外株式10商品、バランス3商品、内外債券2商品、国内債券1商品

- 世界の投資家の注目が集まることを期待した『日本株式ファンド』、中長期保有を意識した『安定成長型のバランスファンド』、長期積立購入のニーズの高い『ローコストインデックス海外株式ファンド』、投資期間を定めた運用ニーズにお応えする『限定追加型債券ファンド』など、例年以上に、多様な資産カテゴリーから幅広く商品拡充を行いました。
- 今後も、お客さまのご要望にしっかりとお応えできる商品ラインアップを検討してまいります。

◆百五証券

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	5	2.2%	国内 R E I T	6	2.6%	ノーロードファンド	23
内外・海外債券	31	13.5%	内外・海外 R E I T	7	3.0%	インデックスファンド	16
国内株式	31	13.5%	バランス	41	17.8%	販売停止	5
内外・海外株式	105	45.7%	その他	4	1.7%	合計	230

取組方針 1：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

多様なチャネルサービスの充実

[原則 2 (注)、原則 6]

【非対面チャネルの強化】

- 非対面チャネルであるインターネット投信の強化に向け、チラシ「インターネット投資信託」を活用しています。
- インターネット投信ご契約者数は2023年3月末で32,731名と前年度比1,396名と増加しています。

FRONTIER BANKING

百五ダイレクトバンキングサービスのご案内

インターネット投資信託

インターネット投資信託とは
百五銀行のインターネット投資信託は、ご来店いただくことなく、インターネットを通じて、ご自宅・外出先で投資信託の各種お取引や残高・運用損益の確認ができるサービスです。

**来店不要!!
おうちでカンタン**

インターネット投資信託

ご来店いただくことなく、インターネットを通じて、ご自宅・外出先で投資信託の各種お取引や残高・運用損益の確認ができるサービスです。

24時間いつでもお取引!!
当日分の売買受付は15時まで
平日夜間や土日祝も終日注文予約が可能です。

いつでも0.55% (税込) 安い!!
購入時手数料が窓口扱いより
常時0.55% (税込) となります。
(購入時手数料無料のファンドを除きます)

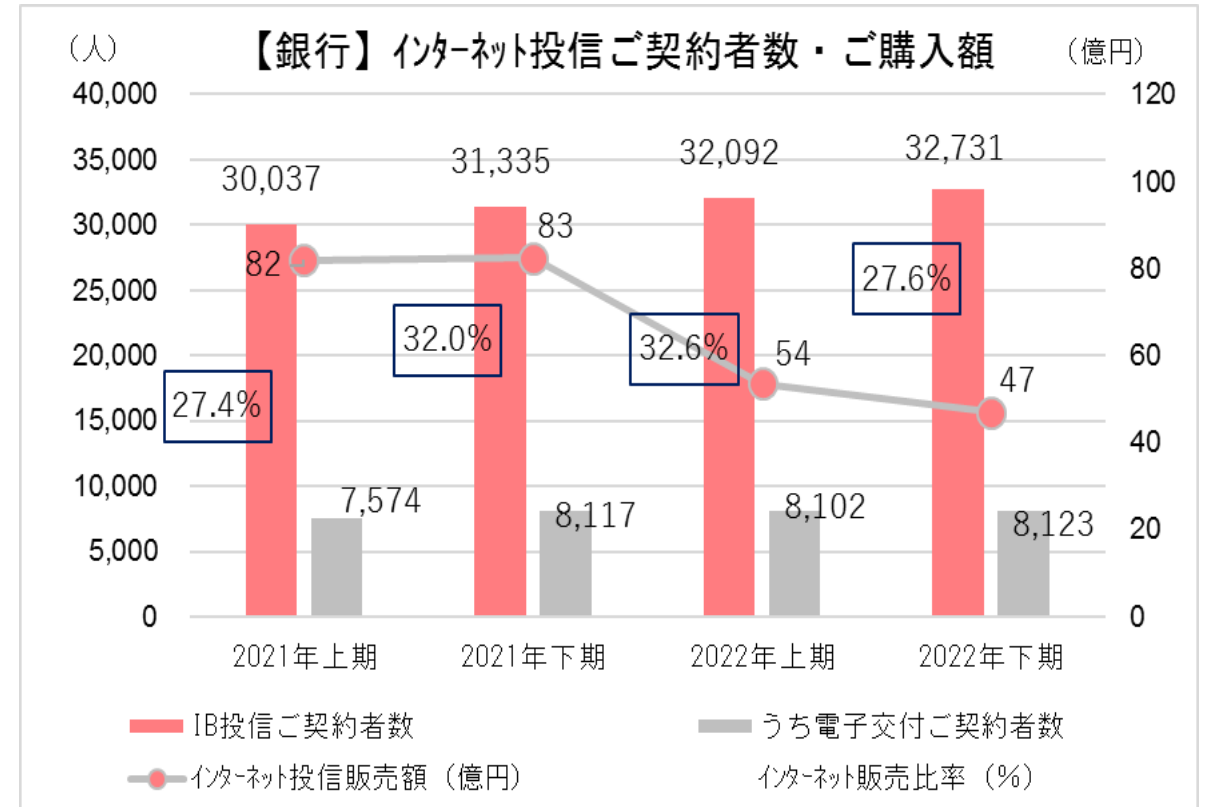
コツコツ積立購入も!!
積立投信の新規契約・
変更・解除の手続きが
可能です。

安心・安全
先進のセキュリティで安心して
ご利用いただけます。

ご来店せずにお申込・お取引いただけます!!
銀行窓口にも1度もご来店いただくことなく、
●ダイレクトバンキングのご契約
●投資信託口座開設
●投資信託各種取引
などが可能です

お申込はこちら

※インターネットバンキング経由での積立投資契約に基づく
購入時手数料は窓口扱いの購入時手数料を適用します。



取組方針 1：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

多様なチャネルサービスの充実

[原則 2（注）、原則 6]

【お客さまへの情報提供サービスの充実化】

- 対面営業で活用するタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」の追加を行い、投資信託の比較、組み合わせ、運用実績などを面談時にわかりやすくお示ししています。ウェルスアドバイザーズ社（旧モーニングスター社）の提供する情報コンテンツを活用し、視覚的にわかりやすい提案・アフターフォローを行っています。
- 2022年8月には当社ホームページの全面リニューアルも実施しました。今後も継続して様々な情報発信の充実に活用してまいります。
- インターネットでの売買取引を希望される声が多く、インターネットサービス拡充の検討を開始しています。

タブレットアプリ 『ウェルスアドバイザーズ』

※旧モーニングスター

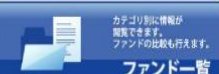


百五証券 ホームページリニューアル

**百五証券**
あなたとともに、あらたな明日を

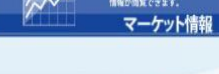
Wealth Advisors

「一時は前場安値を下回る」10日後場 10日午後零時45分時点の日経平均株価は、前週末

**ファンド一覧**
カテゴリ別に情報が掲載できます。ファンドの比較も行えます。

**ランキング**

**購入シミュレーション**

**マーケット情報**

**アドバイス**

**解約シミュレーション**

ライフプラン
イベントごとに必要な資金の試算や目標が設定できます。

はじめよう、投資信託
投資信託の仕組みをわかりやすく解説します。

NISA・iDeCo
少額投資非課税制度・個人型確定拠出年金について解説します。

相続・贈与
相続・贈与について解説(シミュレーション機能あり)。

全ファンド検索
全ての投資信託の情報を検索できます。

ホームページ
百五証券ホームページが開設されます。

アプリの使い方
アプリの使い方を解説します。

資産運用のご案内

【沿革等】百五証券株式会社 金融商品取引業者 兼 証券業務員（金融）第134号 【加入協会】日本証券業協会
投資信託をご購入の際は、各ファンドの投資信託投資者（交付金簿発行）の案内をよくお読み下さい。

Copyright © 2022. Morningstar Japan K.K. All Rights Reserved.
お問い合わせ先：0120-989-687 Ver.6.0.0

データ更新

利用者の登録

速報ニュースページを表示

マーケット基準価額情報

日経平均株価 31,524.22 (+376.21) 15:00 15:00	TOPIX 2,182.70 (+33.41) (20分足) 15:00	米ドル/円 138.90 (+0.09) (5分足) 17:34
	ユーロ/円 149.60 (+0.23) (5分足) 17:34	豪ドル/円 91.92 (+0.70) (5分足) 17:34
	NASDAQ 13,100.982 (+165.697) 2023/06/01 終値	その他の情報 ▶ マップ/株価指数他  ▶ マップ/為替  ▶ 投資情報マンスリー 

**マーケット情報**

**投資信託
ファンド一覧**

**投資信託
ファンド検索**

**投資信託
ランキング**

※上記メニューは、株式会社QUICKのページへ遷移します。各ページの見方は以下をご参照ください。

「投資信託ホームページ」の活用方法 

**百五証券**
あなたとともに、あらたな明日を

お問い合わせ

サイトマップ

**取引サービス案内・手数料**

**商品情報**

**資産運用情報**

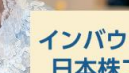
**会社情報**

**店舗案内**

**採用情報**



**インバウンド関連
日本株ファンド**
愛称:ビジット・ジャパン
追加型投資/国内/株式

**VISIT JAPAN**
インバウンド関連
日本株ファンド

百五証券インターネット残高照会サービス

**ログイン**

**サービス概要**

**初期設定ガイド**

**サービスのご案内**

**取引サービス案内・手数料**

**商品情報**

**資産運用情報**

**会社情報**

**店舗案内**

**採用情報**

約款・規程一覧

お客さま本位の業務運営宣言

取組方針 1：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。



利益相反の適切な管理

[原則 3、原則 3（注）]

【利益相反の可能性の把握・管理状況】

- 資本関係のある投信会社・保険会社はなく、また販売上位はもとより全ての投信会社・保険会社からの利益供与等の利益相反はありません。
- 新商品採用においては、商品内容や運用実績および研修などのバックアップ体制等を総合的に勘案のうえ、リスク協議・稟議決裁を経ております。
- 銀行の仲介業務および証券における債券商品に関しては、他の証券会社から外国債券等の取扱を行っています。
※ 当行グループと資本関係にある証券会社はありません。
- 手数料の高い商品に販売が偏ることなく、お客さまの利益を不当に害することが無いよう、利益相反管理方針に基づき、銀行・証券双方において各関連部署が牽制と検証を行い、適切に管理しています。

2022年度 購入上位商品

◆百五銀行【投資信託】

	商品名	投資対象	運用会社	毎月分配	購入時手数料率 (税抜)	販売額 (百万円)	構成比
1	野村インデックスファンド日経 2 2 5	国内株式	野村 A M	-	無料	4,656	14.1%
2	日経 2 2 5 ノーロードオープン	国内株式	アセットマネジメントOne	-	無料	4,426	13.4%
3	GSグローバル社債ターゲット2022-12(限定追加型)【ワポート 2022-12】	内外債券	ゴールドマン・サックスAM	-	1.0%	1,611	4.9%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	毎月分配	3.0%	1,426	4.3%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	-	3.0%	1,130	3.4%

◆百五証券【投資信託】

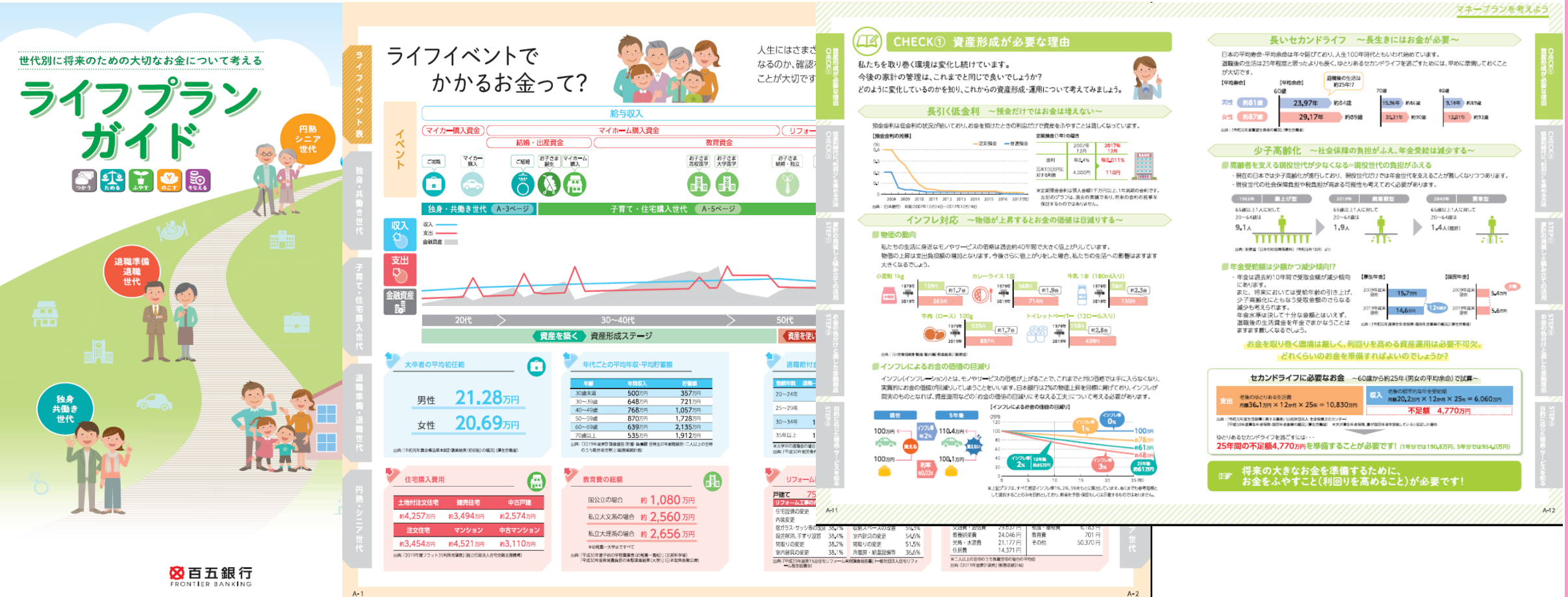
	商品名	投資対象	運用会社	毎月分配	手数料率	販売額 (百万円)	構成比
1	先進国好利回りCBファンド 2 0 2 3 - 0 3 (H有・限定追加)	その他	三菱UFJ国際投信	-	3.0%	2,285	15.3%
2	ピクテ・バイオ医薬品 F (毎月決算型) 為替ヘッジなしコース	内外株式	ピクテジャパン	毎月分配	3.0%	1,268	8.5%
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	毎月分配	3.0%	836	5.6%
4	日経 2 2 5 ノーロードオープン	国内株式	アセットマネジメントOne	-	無料	795	5.3%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信 Dコース (毎月・予想・H無)	内外株式	フィデリティ投信	毎月分配	3.0%	644	4.3%

ライフプランに基づく、金融商品・サービスの提案

[原則6 (注1)]

【最適な資産運用プラン提案】

- お客さまのニーズ、ライフプランやリスク許容度の把握を行えるよう、「ライフプランガイド」を活用し、お客さまのお考えを丁寧にお伺いし、最適な資産運用プランの提案を行います。



ライフプランに基づく、金融商品・サービスの提案

[原則6 (注1)]

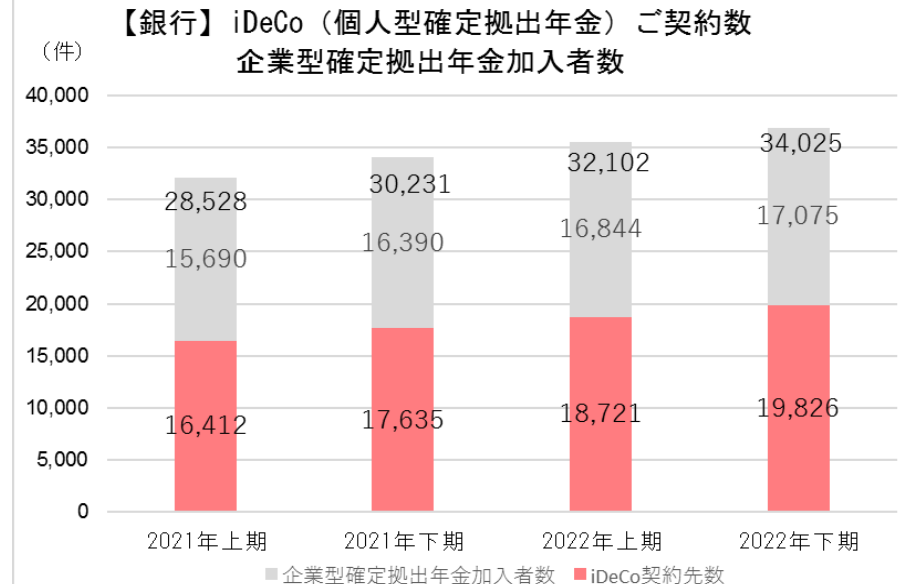
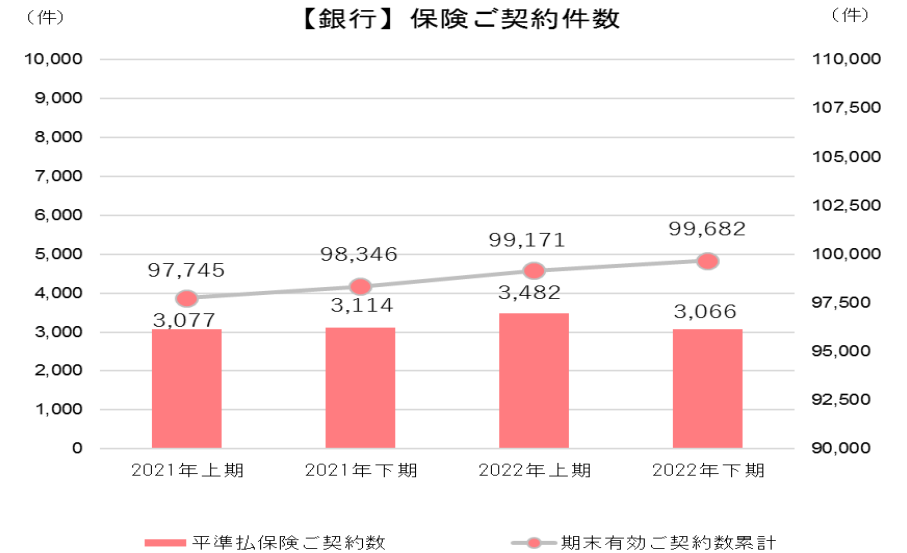
【『ほけんの相談窓口』の活用】

- お客さま個々のライフプランをベースに、最適な保険のコンサルティングを行う「ほけんの相談窓口」を2013年5月に開設し、専門のコンサルタントによる生命保険相談を実施しています。お客さまの家族構成や収入等によって違いがある生命保険の必要保障額を算出したり、客観的なデータを提示して社会保障制度や医療事情などを確認しながら、お客さま個々のニーズに沿った保険提案の実施をする「生命保険コンサルティング」などを実施しています。



【『確定拠出年金iDeCo』の積極推進】

- 2023年3月末時点の当行iDeCo加入者数は19,826人と2021年6月以降、自社iDeCoを取扱う地銀の中でiDeCo加入者数は全国1位となっております。
 - iDeCo加入者向けに運用サポートアプリ「みらいナビ」の無料提供を行い、加入者の長期にわたる資産形成のサポートを行っています。
- ※確定拠出年金の取扱いのない百五証券では、お客さまのニーズとご同意に基づき、百五銀行への紹介も積極的に実施しています。



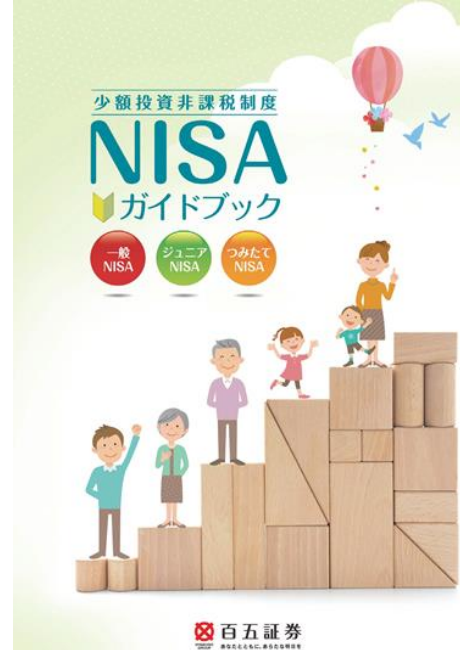
ライフプランに基づく、金融商品・サービスの提案

[原則6 (注1)]

【お客さまに最適な商品提案とNISAを活用した投資信託運用】

- 「百五証券取扱商品・サービスのご案内」リーフレットを活用し、お客さまのニーズや考えに合わせた商品選択をご紹介します。
- 商品ご提案時には株式・債券・投資信託のそれぞれの特徴について比較説明を行い、お客さまのニーズに合わせたご提案を行っています。
- 投資信託については、販売担当者が活用するタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」により、ファンド比較・組み合わせ提案や、積立による中長期での時間分散投資の効果をわかりやすくお示し、ご資金の運用目的やリスク許容度に合わせたご提案を行っています。
- 「資産運用と証券投資」や「NISAガイドブック」を活用し、投資信託や積立投資信託を活用したNISA利用の促進にも注力し、資産形成に資する提案に繋がっています。

活用するお客さま向けリーフレット



タブレットアプリ（投資信託比較チャート）



投資信託を活用した長期・積立・分散投資

[原則6]

- お客さまのライフプラン・ニーズに合わせたコンサルティング提案を通じて、長期保有・積立投資（時間分散）・資産分散投資をお勧めしています。
- 資産を守りながら増やす「コア・サテライト」の考え方にもとづき、多様な商品を組み合わせる複数ファンドの併せ持ちをお勧めしています。
- 長期継続した資産形成をお勧めしており、投資信託の平均保有期間も改善しています。

百五銀行で積立投信
はじめてみませんか？

こんな方におすすめ！
将来に備えて手堅く積み立てたい
少額から購入できる
毎月自動で買付します
分散投資がリスクを軽減します

POINT!
コツコツつみたて下がりもうれしい仕組み！
毎月一定額で投資信託を購入するため、基準価額が下がった時には、多くの口数を購入することができ、下落時も積立投資を続けることで、次の値上がりへのチャンスを作っておくことができます。

POINT!
「時間」と「利回り」を味方につけることが大事！
お金の運用は「元金×時間×利回り」の結晶です！「期待する利回りを高める」「早く始める」ことが、大切な要素です。利回りが低いと、利回りを上げることが期待できる積立投資をはじめませんか？

来店不要！
少額・カンタンな「積立」で投資信託がぐっと身近になります。インターネットで積立投資をはじめられます！

制度も充実してきたが
“本気の積立”で考えよう

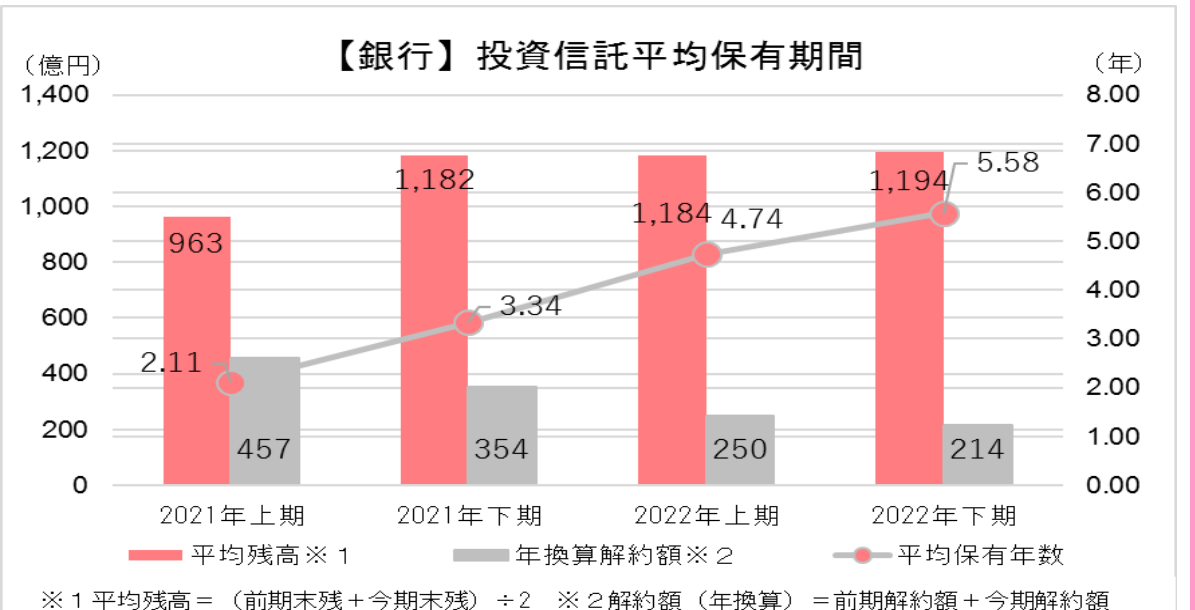
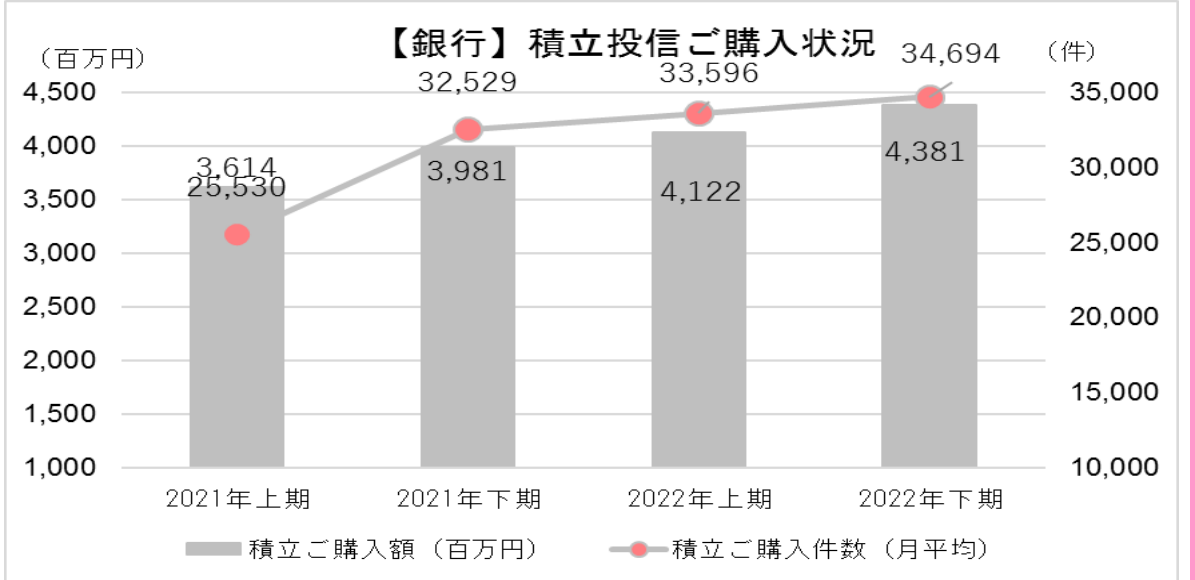
1 「1万円から」じゃないかもしれない
—“本気の積立”を—

月1万円の積立で、せっかくの“満期”がもたない場合があるかもしれません。なぜなら、10年間で平均年5%という上々の積立運用ができたとしても、下落のうちに計算基準は150万円未満、人生の選択を誤らずには少し足りないからです。

6ヵ月に期間、1万円でも積み立て5万円“の”本気の積立”をしていられ、同じ10年後には780万円、もし月10万円だったなら1,050万円を手に入れていることに。その後の人生の選択は、150万円に比べて随分増えていたといえるでしょう。

積立期間	元金	3%	5%	7%
10年	1万円	120万円	140万円	174万円
20年	1万円	240万円	320万円	413万円
30年	1万円	360万円	480万円	622万円
40年	1万円	480万円	720万円	870万円
50年	1万円	600万円	960万円	1,114万円

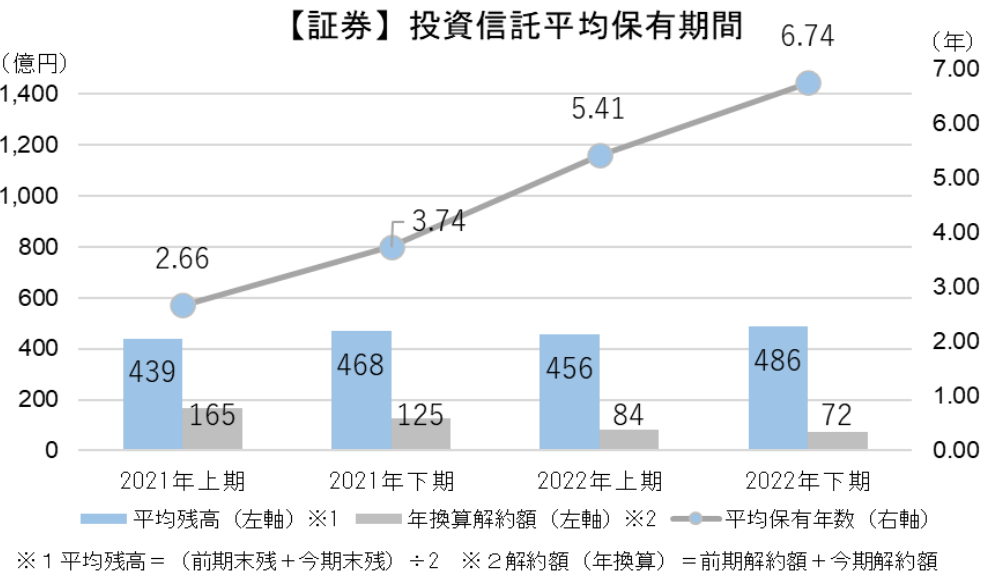
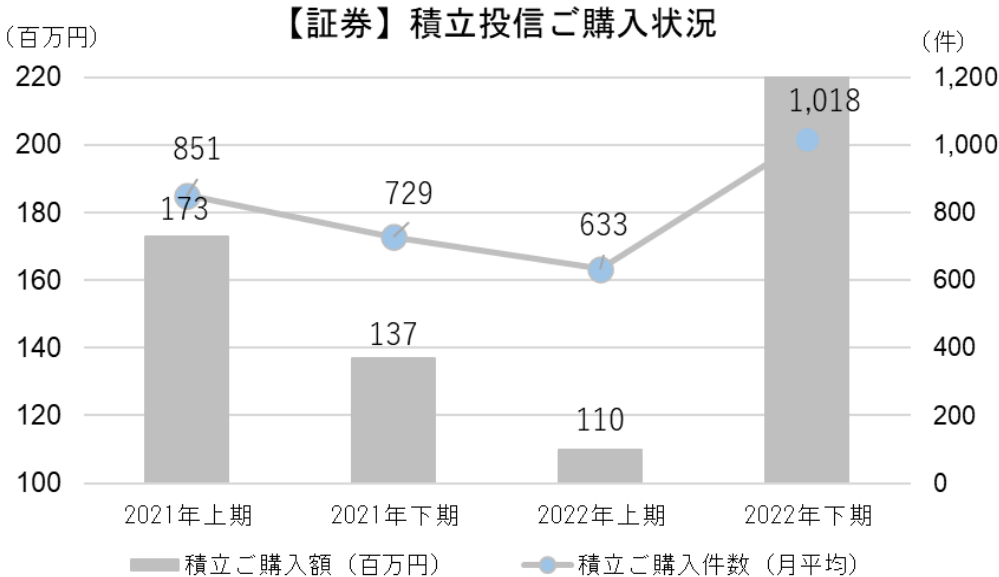
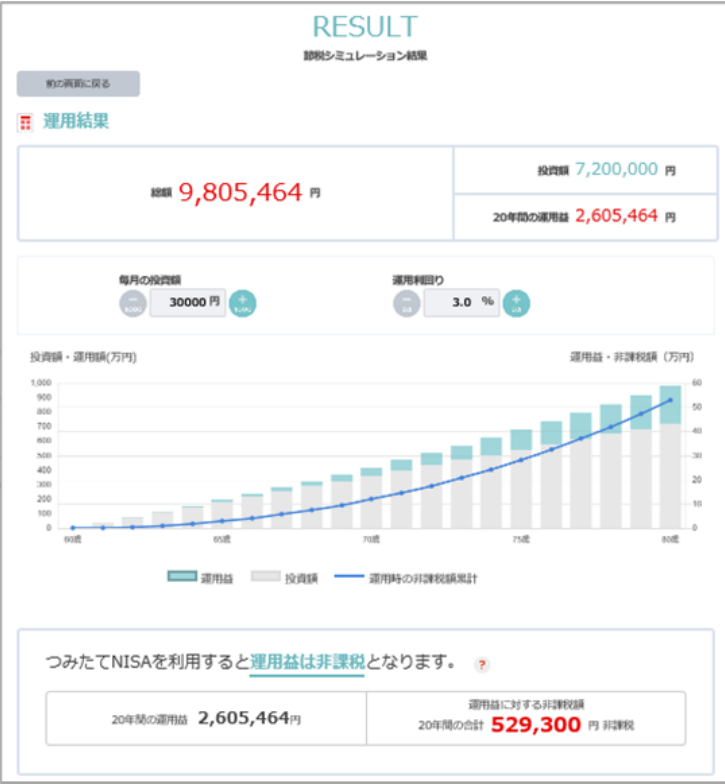
企業年会等
会社や団体などが毎年と定期的に毎月積み立ててくれる、実はこれも立派な積立投資。



投資信託を活用した長期・積立・分散投資

[原則6]

- お客さまのライフプラン・ニーズに合わせたコンサルティング提案を通じて、長期保有・積立投資（時間分散）・資産分散投資をお勧めしています。
- 積立投資信託の活用効果についてタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」の積立シミュレーションを活用するほか、積立購入ニーズが高いと考える信託報酬が相対的に低いファンド（米国S&P500インデックス、米国NASDAQ100インデックス、全世界株式インデックス、日経平均高配当利回り株）などを新規取り扱いし、多数のお客さまに新たに積立投信のご契約をいただいています。
- 長期継続した資産形成をお勧めしており、投資信託の平均保有期間も改善しています。



取組方針2 コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

お客さまへの適時適切な情報提供・フォローの実施

[原則6（注1・注4・注5）]



- 取扱商品の運用状況やマーケット・市場動向を適切にお伝えするとともに、お客さまに有益な情報をお伝えすることに取り組み、個別アフターフォローを継続的に実施しています。
 - 銀行では投資信託・運用性保険商品・債券をお持ちのお客さま、証券では投資信託・債券をお持ちのお客さまへの定期的なフォロー・情報提供をルール化しています。「定期アフターフォロー」等を通じお客さまへのマーケット状況や運用状況の報告を行うほか、適宜、運用会社が作成する臨時レポートやオンラインセミナーのご紹介など、コロナ禍における情報提供機会の充実を図りました。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面集客でのセミナーは実施しておりませんが、面談や電話等によるフォローにて情報提供に注力しています。
 - マーケット情報の週次配信（銀行）、株式マーケット勉強会の月次開催（証券）など、お客さまへの有益な情報提供に活用するため、社員向けの情報収集機会を充実しています。
 - ご高齢のお客さまに対する販売においては、提案時・販売時・ご購入後のフォローについて、特に綿密かつ適切な説明や確認を行う取扱いとしています。
 - 確定拠出年金に関して、企業型DC導入企業のご要望に応じ、加入者向けのフォローアップ説明会を実施しております。現在は対面のみで実施しておりますが、動画配信によるフォローアップ説明会を検討し、より多くのお客さまのサポートができるよう努めています。
- <加入者向けフォローアップ説明会実施回数> 2019年度：42回、2020年度：19回、2021年度：10回、2022年度：35回



- 株式を取扱う百五証券では、より詳細なマーケット情報・個別銘柄情報の提供が不可欠であることから、2022年6月よりQUICK社が提供するアナリストレポートの活用を開始し、株式や投資信託などをお持ちのお客さまへ、相場や投資環境、企業動向など、幅広く専門性の高い情報をご提供できるよう充実を図りました。



投資情報ウィークリー

投資情報ウィークリー 2023年5月26日号

2023年5月26日

QUICK 企業価値研究所 アナリスト 伊藤健雄

～ 好材料が多く、日経平均株価はバブル後の高値を更新 ～

今週末のマーケットの振り返り、今後のポイント

1. 日経平均株価が大きく上昇
2. 日本株好調の背景には複数の好材料があり、海外投資家が大きく買い越し
3. リスクもあるが、23年後半に向けた株価上昇見通しを維持

1. 日経平均株価が大きく上昇

国内株式市場では強い値動きが伺われている。4月第2週(10日～14日)以降、日経平均株価は6週連続で上昇。この間の上げ幅は3000円を超え、5月19日には21年9月につけたバブル崩壊後の高値を更新。その後も継続し、22日には終値ベースで3万1000円を超え、1990年以来33年ぶりの水準に達した。その後は利益確定売りに押されているものの、足元でも依然高値圏にある。米国では、NYダウが4月末に一時3万4000ドルを超えて年初来高値に達したものの、その後足踏み。一方、NASDAQ総合指数やS&P500は上昇し、年初来高値を更新。また、欧州に目を向けると、ドイツのDAX指数が5月19日に過去最高値を更新し、力強い動きを見せている。

2. 日本株好調の背景には複数の好材料があり、海外投資家が大きく買い越し

日経平均株価の推移(過去12週)

日経平均株価の推移(過去12週)



米国マーケットウォッチ 2023年6月号(マーケットウォッチ編)

2023年5月26日

QUICK 企業価値研究所 チーフストラテジスト 終宏二

～ 債務上限問題が重荷で日本株と対照的に軟調。生成AI関連は堅調 ～

1. 債務上限問題が重荷で日本株と対照的に軟調。生成AI関連は堅調

米国株は直近で大きく上昇した日本株と対照的に軟調。米政府の債務上限問題の協議が難航し、政府機関の一部閉鎖などが視野に入り始めたことが重荷となっている。FRB(米連邦準備理事会)が昨年来急ピッチで進めた利上げや、銀行破綻による金融不安の影響などが、ここきてボディブローのように効き始めた感もある。小型株で構成されるラッセル2000は、景気悪化に敏感に反応しや

す、全体の株価の先行指標になる傾向があるといわれるが、先行して下落し軟調であり、短期的には調整リスクを注視したい。一方、生成AIの隆盛への期待から一部半導体株や大手テック株は堅調。これらが高PER銘柄の堅調の背景には、利上げ機運が総じて低下していることもあるとみる。債務上限問題が合意に達し解決すれば、これらの銘柄を中心に全体の株価も一旦上向き可能性がある。

2. 市場は利上げ継続懸念との見方を基本的に維持。金利と株価の相関が薄れる動きも。景気は現状堅強い

足元では、米国の金融システム不安から、急激な調整を強いられ、世界景気や企業業績の減速傾向が短期的な上値の抑制要因になるものの、年後半にかけては回復に転じるとの見方を継続する。

国内株式市場の回復には、(1)欧米中心のインフレ鈍化に応じた主要中央銀行の金融政策の転換(利上げ停止から利下げ転換へ)、(2)中国の「ゼロコロナ政策」

の「転換」に伴う景気回復、(3)岸田内閣の「政策転換」(①所得倍増プラン、②エネルギー政策の転換、③防衛予算の増額、など)、(4)主要国の経済・エネルギー安全保障を強く意識した「政策転換」、などが支援材料となろう。加えて、(5)国内企業の経営マインドの転換(ROE(自己資本利益率)など資本効率重視の経営への転換)、も株価上昇を後押しすると考えている。

主要の株価指数(過去12週)

主要の株価指数(過去12週)



投資戦略(要約版)

当分のマーケット・フォーカス

～内外株式相場は23年後半に回復に転じるとの見方を変えす～

2023年3月29日

QUICK 企業価値研究所 堀内敏成、小西慶祐

本レポートはQUICK 企業価値研究所が発行する投資戦略の「要約版」です。詳しくは別途配信している投資戦略の「詳細版」をご参照下さい。

<今回の投資戦略>

1. 金融システム不安が台頭も過度な警戒は不要と考える

23年3月に入り、米国のシリコンバレーバンク(SVB)など銀行の経営破綻が相次ぎ、欧米ではいかに金融システム不安が台頭。米連邦準備理事会(FRB)が早期に「利上げ停止」に進むとの思惑が浮上している。08年に発生したリーマンショック以来、主要国は金融危機対応に習熟しており、今回も過度にネガティブに捉える必要はないだろう。

2. 国内主要企業は資本効率重視の経営を一段と強化へ

足元では、米国の金融システム不安から、急激な調整を強いられ、世界景気や企業業績の減速傾向が短期的な上値の抑制要因になるものの、年後半にかけては回復に転じるとの見方を継続する。

国内株式市場の回復には、(1)欧米中心のインフレ鈍化に応じた主要中央銀行の金融政策の転換(利上げ停止から利下げ転換へ)、(2)中国の「ゼロコロナ政策」の「転換」に伴う景気回復、(3)岸田内閣の「政策転換」(①所得倍増プラン、②エネルギー政策の転換、③防衛予算の増額、など)、(4)主要国の経済・エネルギー安全保障を強く意識した「政策転換」、などが支援材料となろう。加えて、(5)国内企業の経営マインドの転換(ROE(自己資本利益率)など資本効率重視の経営への転換)、も株価上昇を後押しすると考えている。

取組方針2 コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

地域金融リテラシー向上への参画



- 地域金融機関グループとして、金融商品のご提案・販売にとどまることなく、地域のお客さまの資産形成に貢献するためには「地域金融リテラシー向上への参画」も重要な取り組みと考えています。
- 銀行・証券ともに、県内大学・高等学校・中学校などの学生向けの投資教育関連セミナーや三重県警察学校生徒や取引先の新入社員、従業員向けに職域での金融リテラシー講座を実施し、若年層向けの投資教育への取り組みを継続しています。



重要情報シートの導入と説明態勢の充実

[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]

- よりわかりやすく、比較しやすい説明を実現すべく、投資信託や保険、仕組債の重要情報シートを導入しました。
- 金融庁が定める「顧客本位の業務運営に関する原則」原則5【重要な情報の分かりやすい提供】（注4）への対応として、投信運用会社（投信協会）、保険会社（生命保険協会）、証券会社（日本証券業協会）等と連携のうえ同シートの作成を行い、2022年6月から取扱開始しています。

重要情報シート（金融事業者編）

百五銀行FRONTIER BANKING

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（金融事業者編）～百五銀行のご紹介～

本書面では、百五証券の基本情報、取扱商品および取扱商品選定の考え方などを記載しています。

1.当行の基本情報

当行は、お客さまに金融商品の販売をする者です。

2.取扱商品

当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです。

3.商品ラインアップの考え方

商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです。

4.苦情・相談窓口

百五証券FRONTIER SECURITIES

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（金融事業者編）～百五証券のご紹介～

本書面には、百五証券の基本情報、取扱商品および取扱商品選定の考え方などを記載しています。

1.当社の基本情報

当社は、お客さまに金融商品の販売をする者です。

2.取扱商品

当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです。

3.商品ラインアップの考え方

商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです。

4.苦情・相談窓口

重要情報シート（個別商品編）

百五銀行FRONTIER BANKING

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（個別商品編）

投資信託

1.商品等の内容

当行は、販売会社として、販売会社等が提供する商品の勧誘を行っています。

2.リスクと運用実績

本商品は元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

3.費用

本商品の購入および保有には、費用が発生します。

百五証券FRONTIER SECURITIES

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（個別商品編）

投資信託

1.商品等の内容

当社は、販売会社として、販売会社等が提供する商品の勧誘を行っています。

2.リスクと運用実績

本商品は元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

3.費用

本商品の購入および保有には、費用が発生します。

重要情報シートの導入と説明態勢の充実

[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]

- 投資信託の手数料やリスク・商品特性について、分かりやすく説明できるようコンテンツを充実しています。
- 2018年2月に導入した投信情報提供アプリ「QUICK Asset Design Navi」の活用方法の浸透を図り、活用の高度化を引き続き進めています。
- お客さまには、同アプリを活用して、投資信託の手数料やリスク・商品特性について、視覚的に分かりやすい説明を行っています。
- 同アプリを搭載したタブレット端末については、2022年4月から稼働しているコンサルプラザに所属する販売担当者全員に配布しております。またこれまで以上にお客さまへ最適な提案ができるよう、本部研修担当による同アプリの研修を行いました。

【銀行】QUICK Asset Design Navi

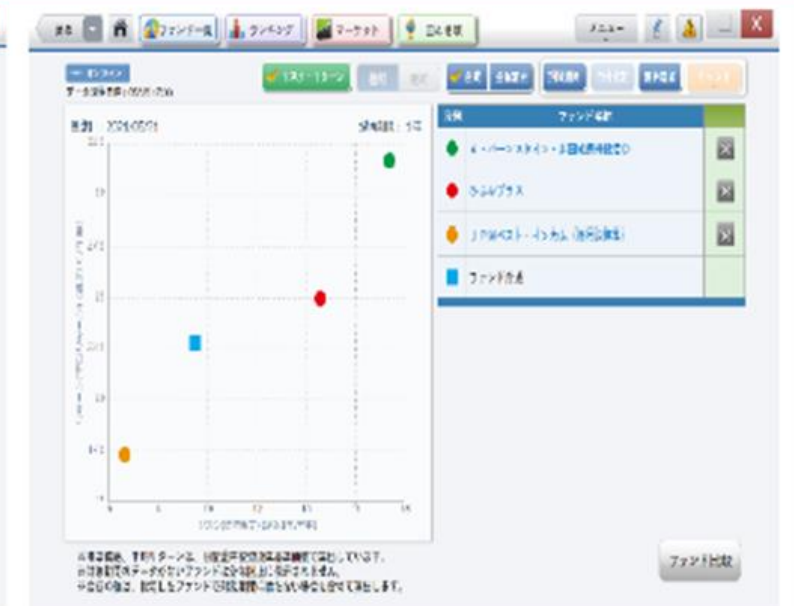
■手数料シミュレーション



■積立シミュレーション



■リスク・リターンマップ



重要情報シートの導入と説明態勢の充実

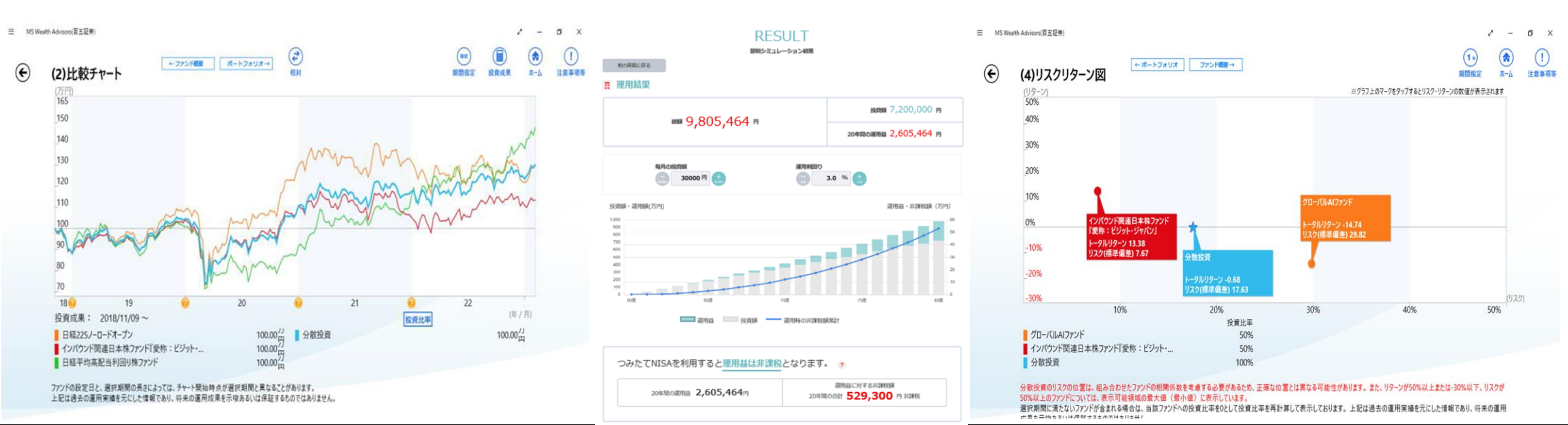
[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]

- 投資信託の提案・販売時に「手数料説明書」を用いて、申込金額に応じた具体的な手数料金額を明示した説明を行っています。
- 情報提供アプリ「ウェルスアドバイザーズ」を用いて、手数料シミュレーションや比較チャート、積立シミュレーションを活用するほか、リスク・リターンについてもチャートにより視覚的にわかりやすい説明を実施しています。
- 2022年の8月の導入以降、定期的に社員向けの提案活用研修を実施し、担当者がお客さまに対してわかりやすい説明を実践できるように努めています。

【証券】ウェルスアドバイザーズ
■比較チャート

■積立シミュレーション

■リスクリターン図



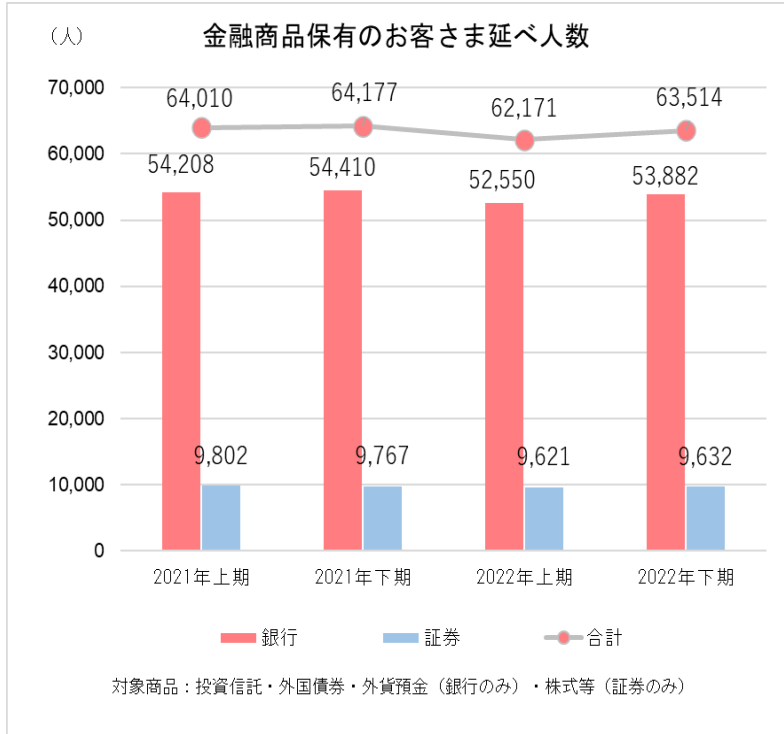
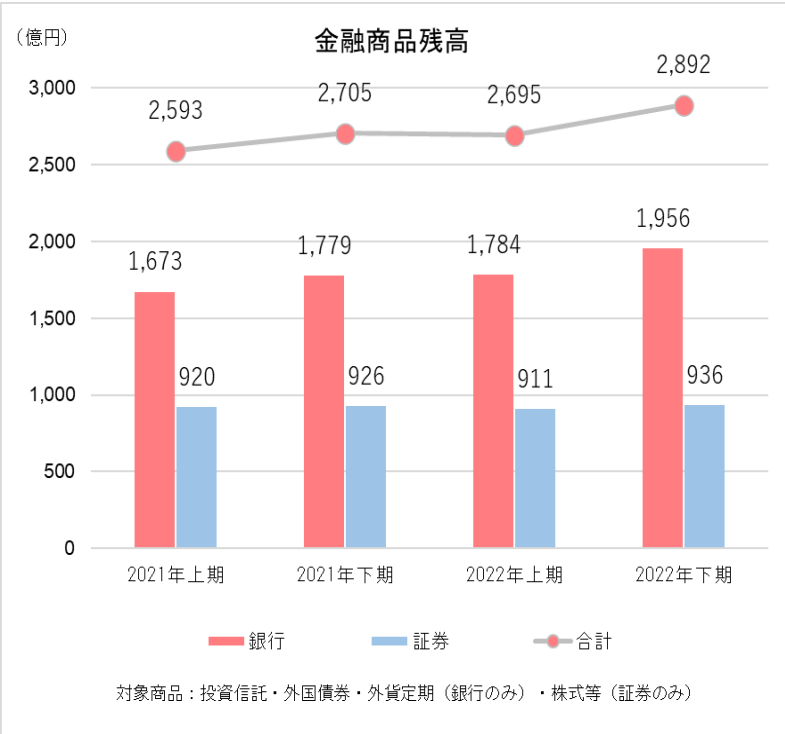
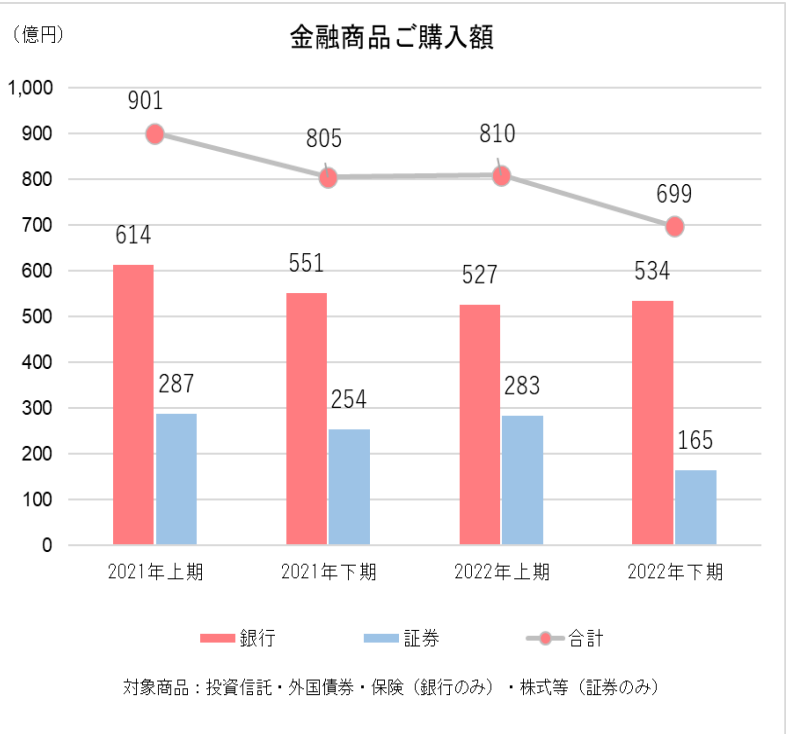
銀証連携体制とグループ協働によるお客さまへの提供サービスの充実

[原則2（注）、原則6、原則6（注2・3）]

- 2019年4月より銀証連携体制を変更。仲介口座での取引拡大、百五証券担当者による仲介先への証券独自商品（E B債・株式・投資信託等）の販売を開始しており、連携の強化・定着を図ったことにより、お客さまに対するワンストップサービスの提供を実現しています。
- 2023年9月以降、EB債を含めた仕組債の新規取扱を停止しておりますが、グループの総合力を活用し、お客さまに最適な金融商品サービスの提供に努めております。
- 2022年度のご購入額は減少しましたが、投資信託を中心に解約が減少。長期保有を意識した投信運用提案に注力していること、円建外債の販売増加の要因から、お預り残高は増加しています。金融商品をお持ちのお客さまの延べ人数はグループ全体で63,514名となりました。

仲介口座での取引実績

	2020年度	2021年度	2022年度	増減
収益（百万円）	387	404	296	-108
販売（億円）	331	359	350	-9
残高（億円）	410	506	721	215



営業人材の育成・指導と適切な評価

[原則 2、原則 7、原則 7（注）]



- 販売担当者への情報共有、提案・フォローノウハウの浸透と強化を図っており、各種研修や勉強会を実施しています。
 - ① 年次に合わせた研修体系を構築し、商品知識やセールススキルに関する研修を実施。
 - ② お客さまの中長期の資産形成に資する提案ができるよう、新ファンド導入時に勉強会を実施。
 - ③ 定期的にマーケット勉強会を開催し、販売担当者のマーケット知識の醸成を図っております。



- 販売担当者の顧客対応力を高めるため各種勉強会について、開催頻度増加や内容の改善を図っています。
 - ① 新ファンド導入に合わせた勉強会実施により、商品の使い分け、ポートフォリオ提案の実践を浸透しています。
 - ② 株式の情報提供力、提案スキル強化のため、マーケット・銘柄の勉強会を毎月実施しています。
 - ③ 税制や商品知識、マーケット知識、株式銘柄分析などのスキルアップのため勉強会を毎月実施しています。

- 販売担当者のスキル向上の観点から、国家資格であるFP技能士1級の取得促進を図っており、お客さまの幅広いニーズに対する総合的なコンサルティング提案の実践に努めています。

FP技能士資格・CFP・AFP保有者

<2023年3月末>

◆百五銀行（百五証券への出向者を含む）

◆百五証券（金融渉外技能審査1級・2級を含む）

FP技能士1級	326名	FP技能士1級	8名
CFP	20名	CFP	2名
FP技能士2級	1,651名	FP技能士2級	80名
AFP	59名	AFP	8名

<参考> ファイナンシャル・プランナー資格名
F P 技能士：厚生労働省が認定する国家資格。
C F P 資格：「N P O 法人日本 F P 協会」が認定する上級資格。世界 24 か国・地域で認められた世界水準資格。
A F P 資格は、C F P 資格へのステップとして位置づけられています。

取組方針5 お客様本位の営業体制を整備します。

営業人材の育成・指導と適切な評価

[原則2、原則7、原則7（注）]

- お客様の資産形成に資する営業活動を評価する業績評価体系へ改善を図るとともに、研修等を通じ、グループ役職員に対して、お客様本位の業務運営方針の浸透を図っています。
- 2019年度より、銀行・証券ともに営業店業績表彰制度におけるストック項目（残高・裾野拡大など）の評点比率を引き上げています。



- 2022年度についてはお客様のニーズ、マーケットに応じた提案・成果が正しく評価される体系への変更を行い、お客様本位の業務運営が適正に評価されるよう工夫しています。
- 2020年度下期より、お客様の中期の資産形成に資する営業活動を評価するため、投信残高や積立投資信託の評価基準を高めています。



- 2022年度には、お客様本位の業務運営が適正に評価されるよう、お預り残高拡大の評価をさらに高めるとともに、投資信託を活用した資産運用提案・積立投資信託に注力した営業活動を重視して評価する体系に変更しています。
- バランスファンドや株式・債券などへの分散投資推進により、多様な資産・商品の預り残高増加を意識したプロセス評価を重視し、中期の資産形成につなげる提案意識の向上を図っています。
- 百五証券では対応できない、確定拠出年金、相続対策や資産承継のための保険商品や遺言信託などのサービスのニーズに対する百五銀行への紹介も、適切に評価する基準も設けています。

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

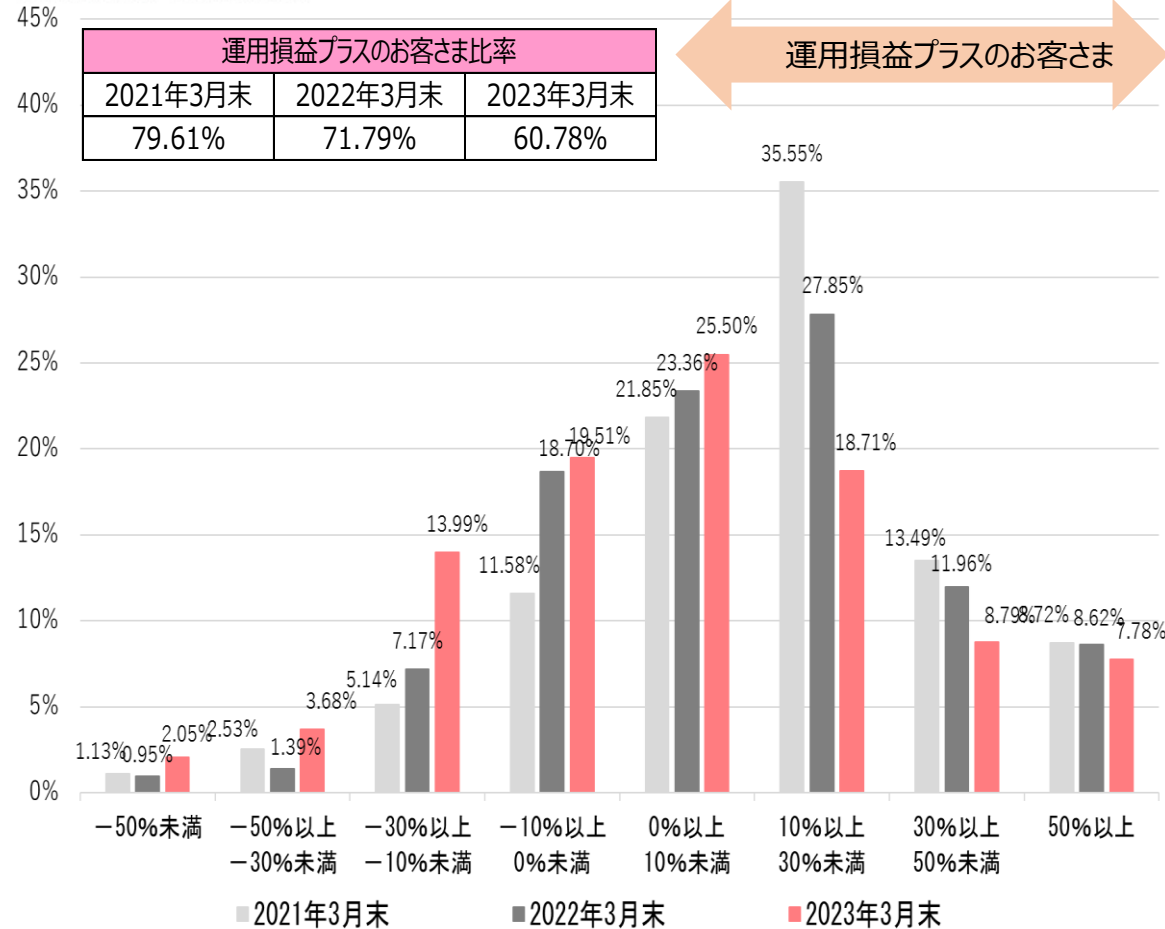
『運用損益別顧客比率』

※対象のお客さま：基準日時点に投資信託を保有している個人のお客さま

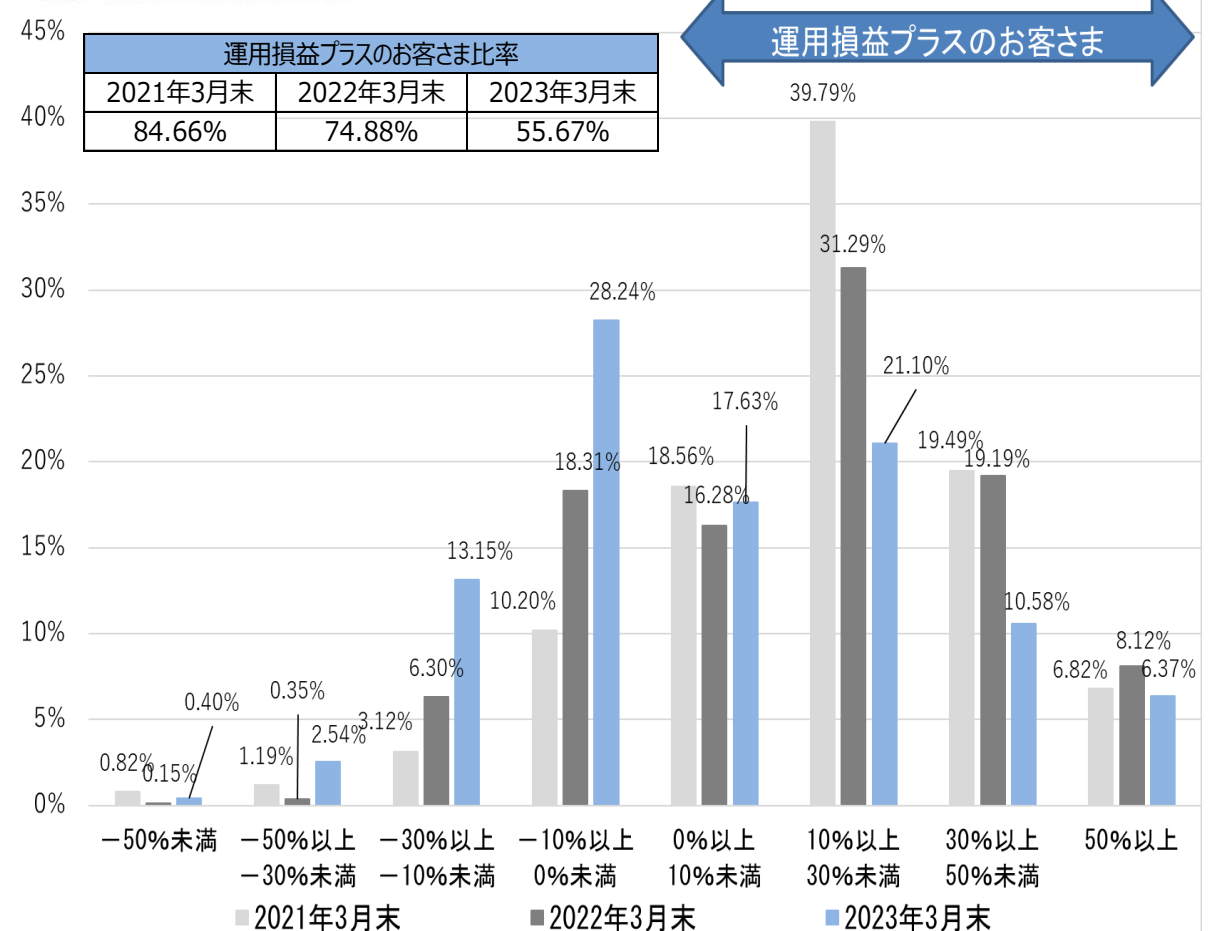
※運用損益：基準日時点の「時価評価金額 + 累計受取分配金額（税引後） + 累計売却金額 - 累計購入金額（消費税込の販売手数料を含む）」÷「時価評価金額」

- 2023年3月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は、百五銀行60.78%、百五証券55.67%と、2022年3月末（百五銀行71.79%、百五証券74.88%）と比較して、それぞれ減少しました。特に百五証券は、2023年2月・3月にご購入いただいたお客さまが非常に多く、購入時手数料によるマイナスが影響しました。

百五銀行 FRONTIER BANKING



百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を



【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』

- 2023年3月末時点での、投資信託預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リスク・平均リターンは、以下の通りとなっています。
- 百五銀行:平均コスト1.81%/平均リスク17.01%/平均リターン8.78% ●百五証券:平均コスト2.26%/平均リスク19.14%/平均リターン11.85%



(単位：%)

残高上位20銘柄		コスト	リスク	リターン
①	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.56	16.69
②	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.54	9.97
③	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	20.73	5.16
④	ひふみプラス	1.41	15.97	2.23
⑤	日経225ノーロードオープン	0.55	17.06	6.68
⑥	野村インデックスファンド日経225	0.44	17.05	7.12
⑦	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	18.16	9.4
⑧	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.66	16.79
⑨	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	21.39	1.92
⑩	投資のソムリエ	1.98	3.72	-0.44
⑪	グローバルAIファンド	2.59	27.13	15.08
⑫	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド【愛称：THE 5G】	2.57	21.54	8.24
⑬	東京海上・円資産バランスファンド（毎月）【愛称：円奏会】	1.25	3.76	-0.9
⑭	ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.75	19.02	9.29
⑮	高金利先進国債券オープン（毎月）【愛称：月桂樹】	1.68	7.58	1.99
⑯	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53	24.72	14.87
⑰	野村インデックスファンド米国株式配当貴族	0.55	17.3	14.61
⑱	野村インデックスファンド外国株式（累投）	0.61	17.97	13.03
⑲	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	1.91	17.08	7.63
⑳	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64	13.59	12.85
残高加重平均値		1.81	17.01	8.78



(単位：%)

残高上位20銘柄		コスト	リスク	リターン
①	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.56	16.69
②	企業価値成長小型株ファンド	2.26	25.53	15.07
③	ピクテ・バイオ医薬品 F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.75	19.02	9.29
④	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.66	16.79
⑤	新光 U S - R E I T オープン	2.34	18.22	7.87
⑥	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.54	9.97
⑦	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	18.16	9.4
⑧	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	20.73	5.16
⑨	M S グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64	13.59	12.85
⑩	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51	21.54	8.24
⑪	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60	21.36	13.17
⑫	日経225ノーロードオープン	0.55	17.06	6.68
⑬	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53	24.72	14.87
⑭	ひふみプラス	1.41	15.97	2.23
⑮	グローバルAIファンド	2.59	27.13	15.08
⑯	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.60	21.45	13.09
⑰	好配当日本株式 オープン	1.65	15.38	5.54
⑱	n e t W I N G S テクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	2.75	20.53	14.60
⑲	M S グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）	2.64	12.73	7.27
⑳	M H A M J - R E I T インデックスファンド（毎月決算型）	1.16	14.85	4.48
残高加重平均値		2.26	19.14	11.85

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』



●直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト・平均リスク・平均リターン

【コスト・リターン／リスク・リターン】

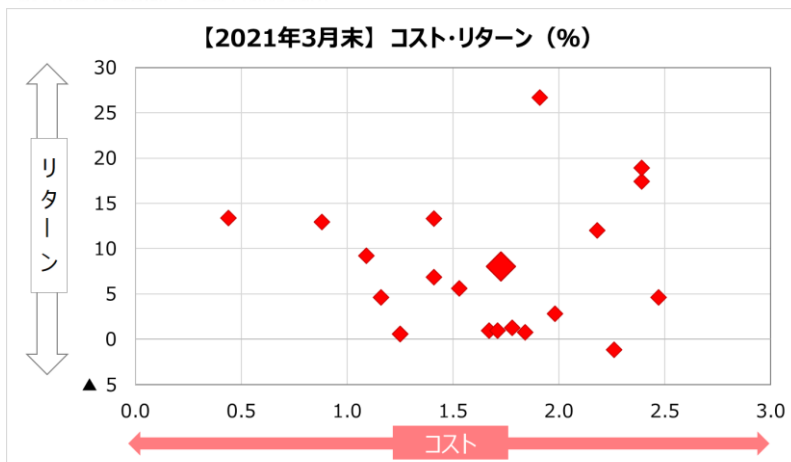
※本共通 K P I は、金融庁が公表した基準にもとづき算出

※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄に限定）

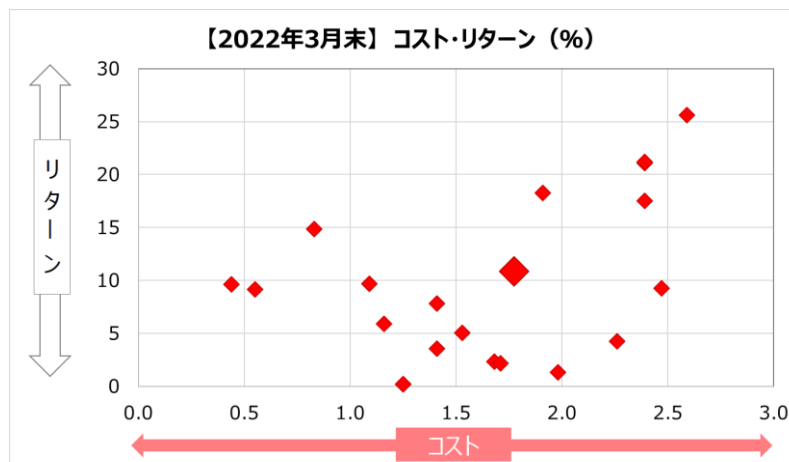
※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値

※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

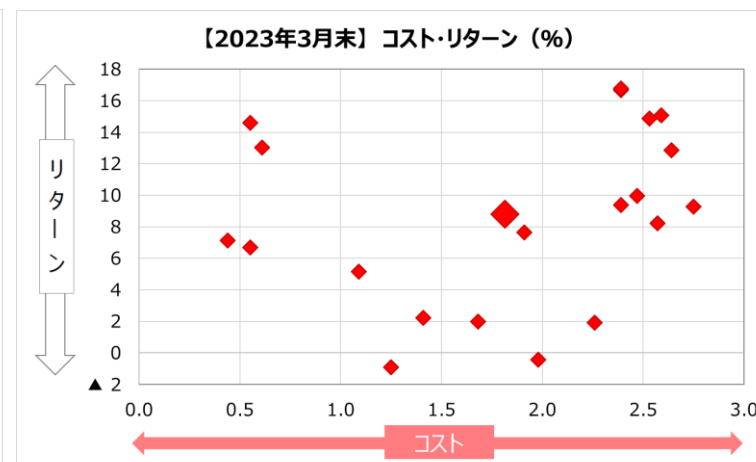
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



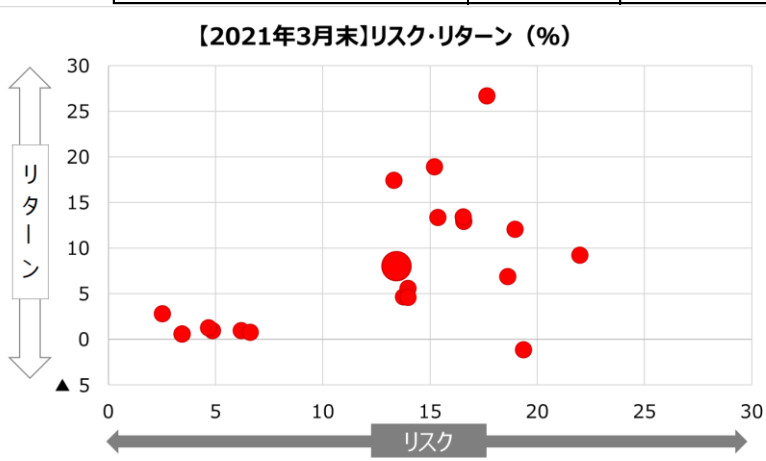
【2021年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.73%	7.99%



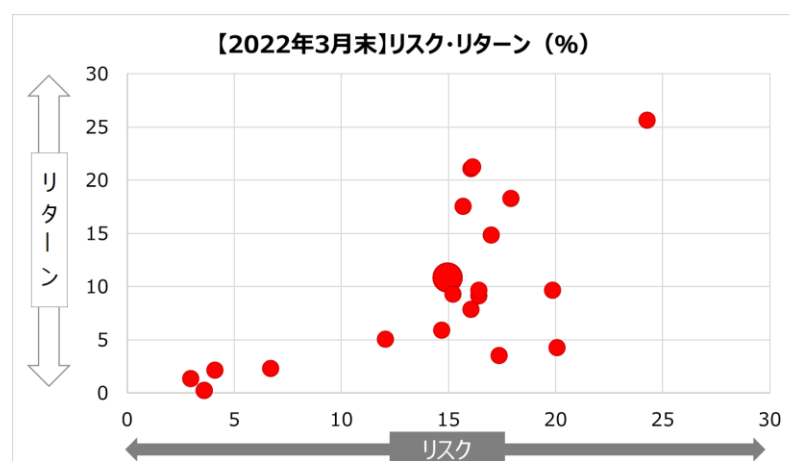
【2022年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.78%	10.84%



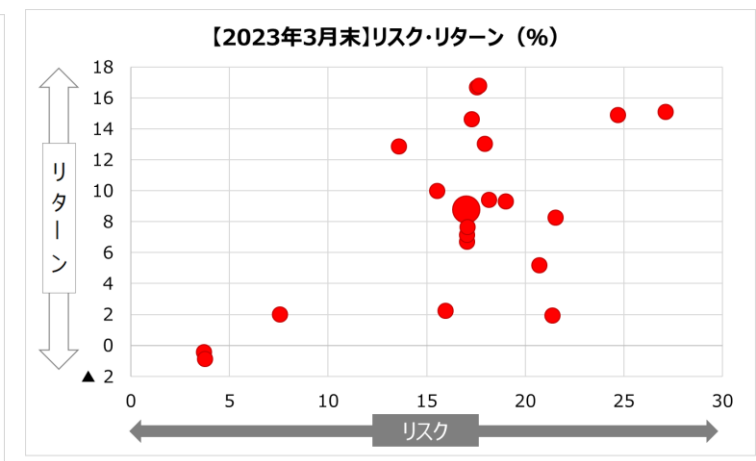
【2023年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.81%	8.78%



【2021年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	13.46%	7.99%



【2022年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	14.97%	10.84%



【2023年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.01%	8.78%

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』



●直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト・平均リスク・平均リターン

【コスト・リターン／リスク・リターン】

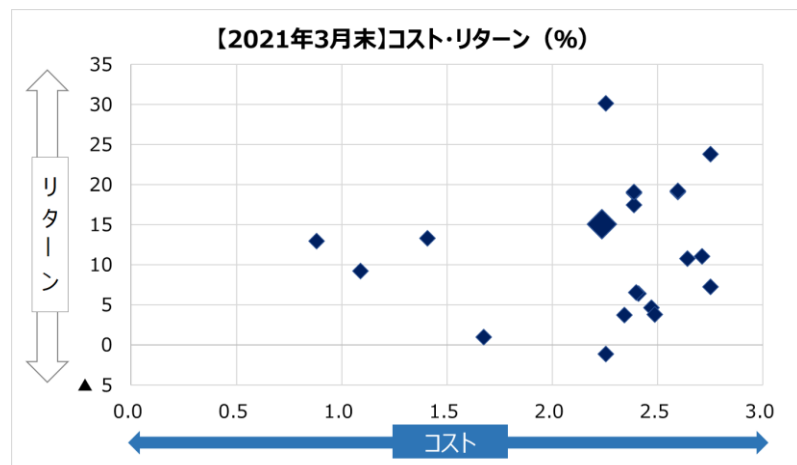
※本共通 K P I は、金融庁が公表した基準にもとづき算出

※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄に限定）

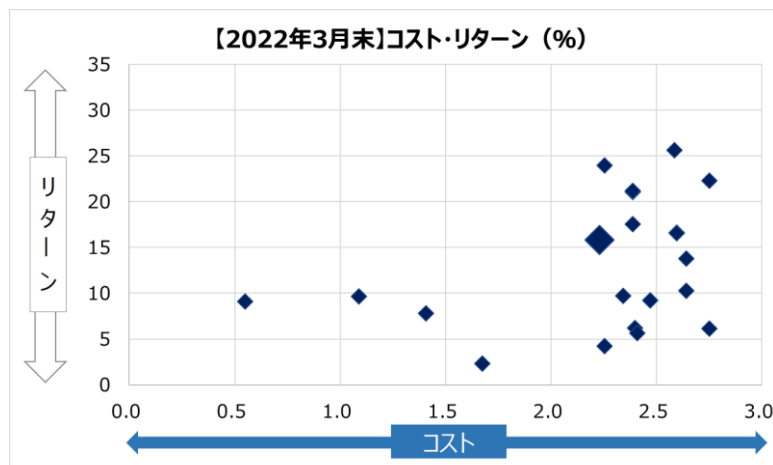
※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値

※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

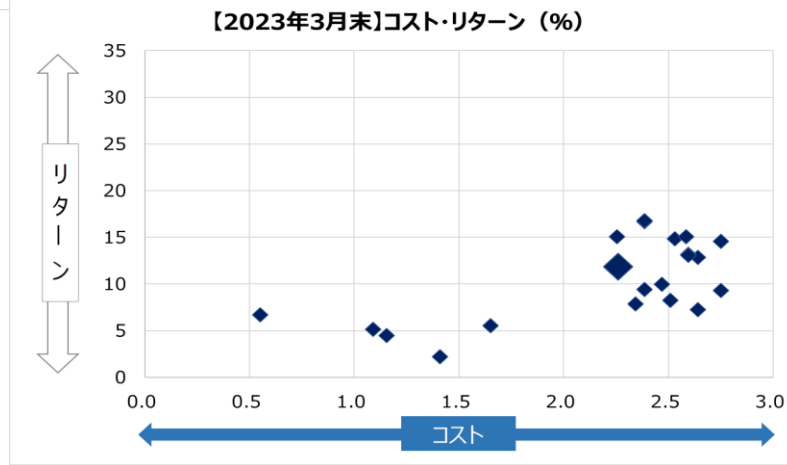
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



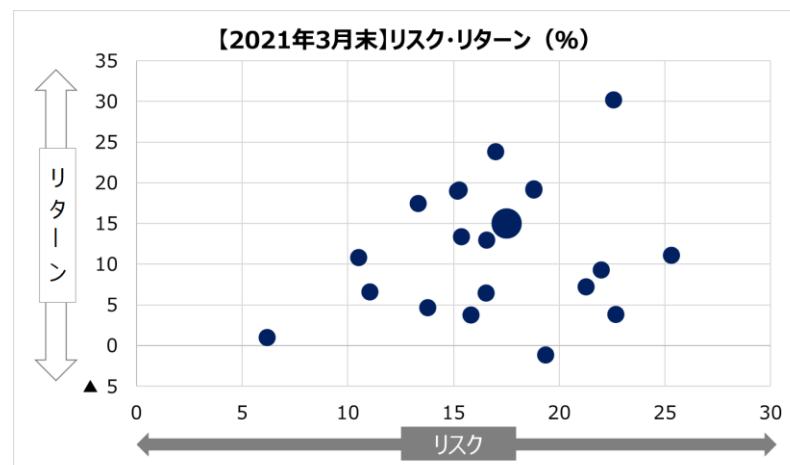
【2021年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.24%	15.00%



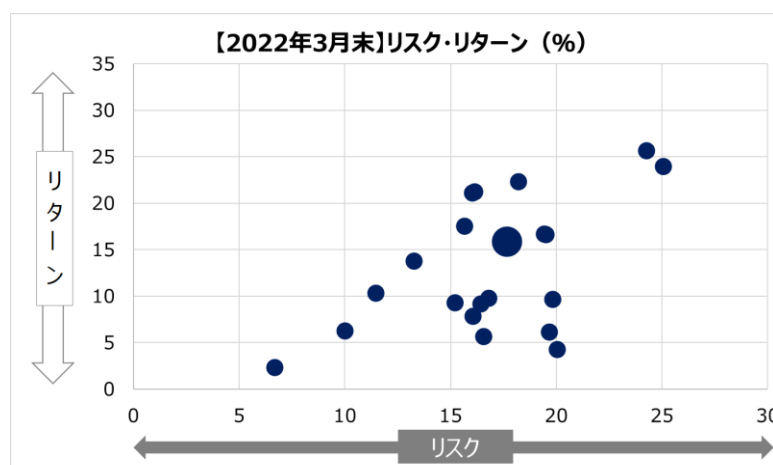
【2022年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.23%	15.81%



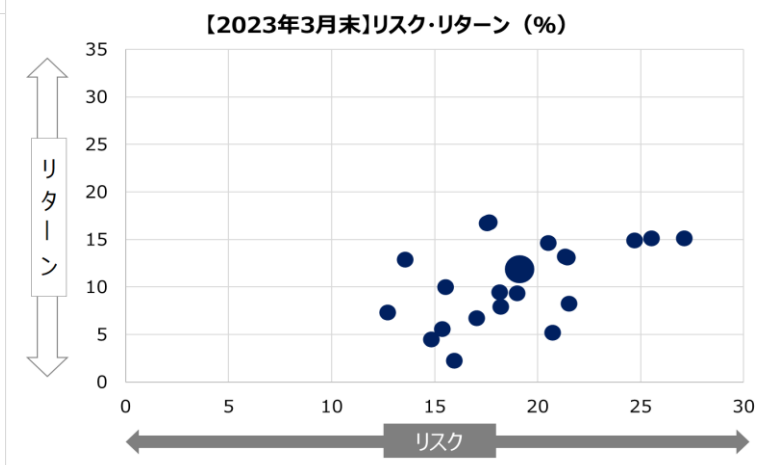
【2023年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.26%	11.85%



【2021年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.54%	15.00%



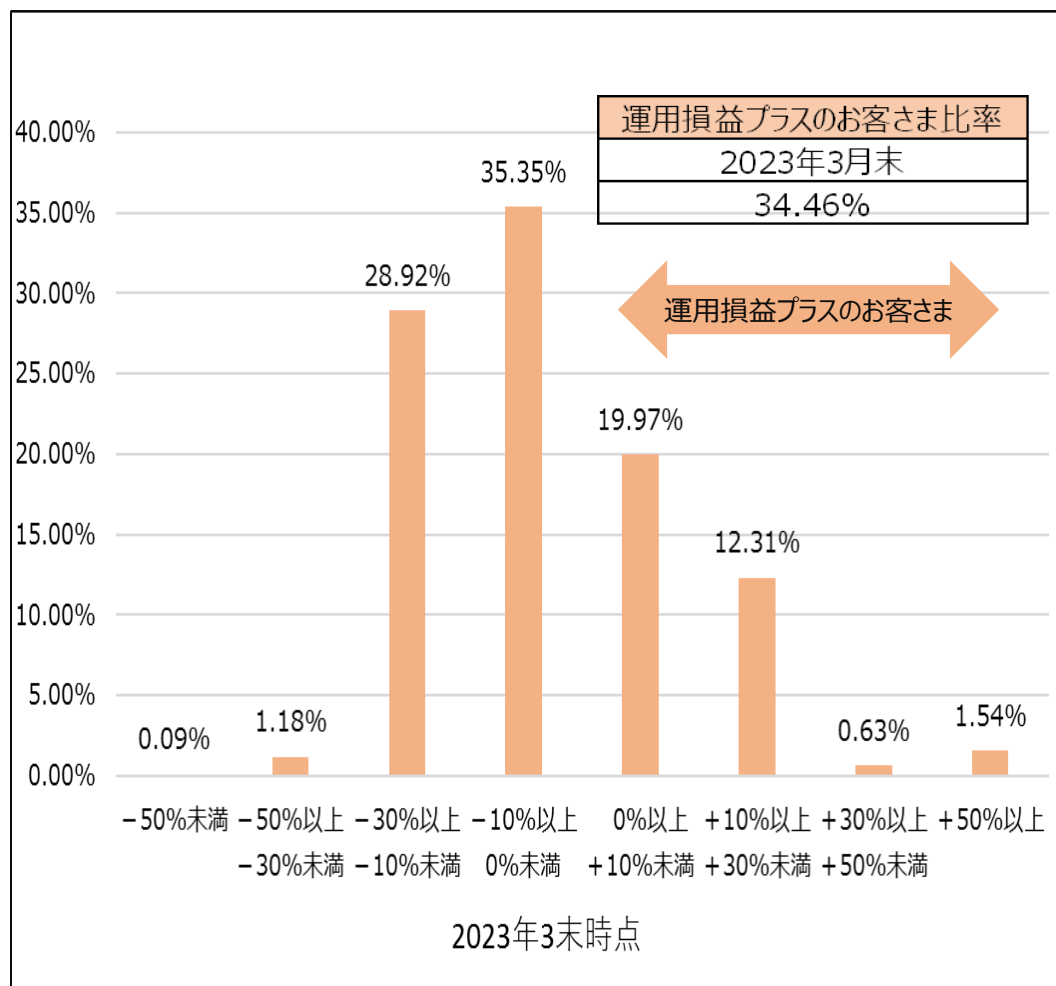
【2022年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.68%	15.81%



【2023年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	19.14%	11.85%

『運用損益別顧客比率』

- 2023年3月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は34.4%と2022年3月末時点61.6%と比較して、減少しました。



＜補足＞

- ・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
- ・基準日・・・2023年3月31日時点
- ・対象・・・基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
除外しているもの・・・円建一時払保険。平準払保険。

介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。（※生前贈与商品は除外していない）
基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、当初外貨建一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。損益計算不能な契約。

＜保険商品の保障性について＞

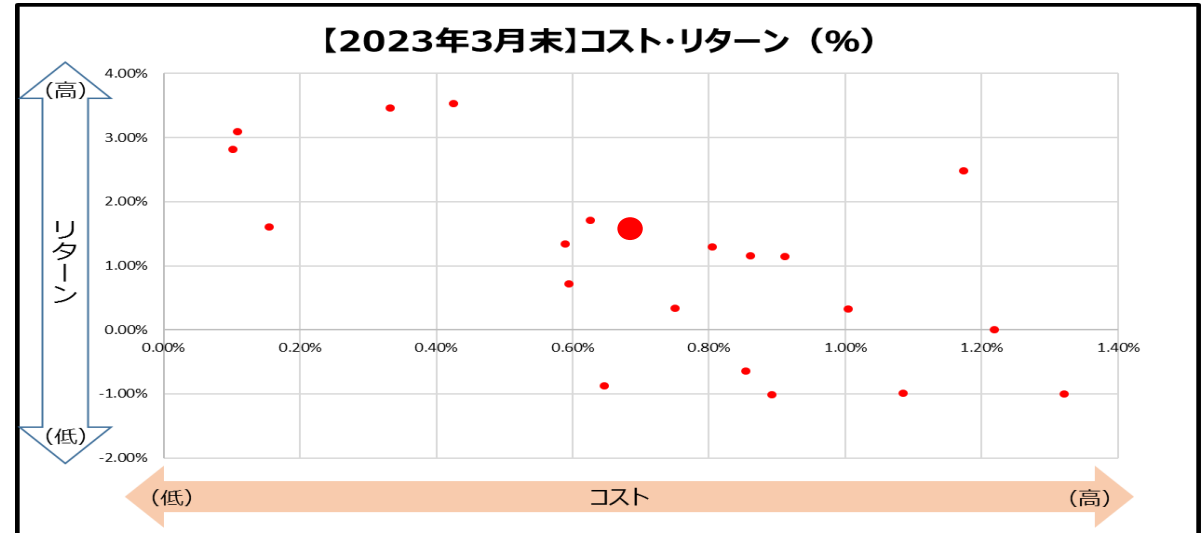
- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- ・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。

【ご参考】 保険商品の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン』

- 2023年3月末時点での、保険預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リターンは、以下の通りとなっています。
- 平均コスト0.78%/平均リターン0.60%。

販売上位20銘柄		コスト	リターン
①	サニーガーデン E X	0.86%	1.15%
②	やさしさ、つなぐ	0.65%	-0.88%
③	到達力 V 2	1.09%	-0.99%
④	サニーガーデン	0.59%	0.72%
⑤	ビーウィズユー（U Sドル建）	0.43%	3.54%
⑥	到達力 V	0.85%	-0.64%
⑦	未来を楽しむ終身保険	1.22%	0.00%
⑧	三大陸	0.59%	1.33%
⑨	生涯プレミアムワールド 4	1.01%	0.32%
⑩	生涯プレミアムワールド 3	0.75%	0.34%
⑪	夢のプレゼント	0.63%	1.71%
⑫	到達力 V 3	1.32%	-1.00%
⑬	プレミアプレゼント	0.91%	1.15%
⑭	ロングドリーム G O L D	0.81%	1.30%
⑮	シリウスデュアル	0.11%	3.09%
⑯	シリウスハーモニー	0.15%	1.60%
⑰	デュアルドリーム	0.89%	-1.01%
⑱	シリウスプラス	0.10%	2.81%
⑲	ふるはーと J ロードグローバル	1.17%	2.48%
⑳	ロングドリーム	0.33%	3.46%
残高加重平均値		0.78%	0.60%



【2023年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	0.78%	0.60%

<補足>

- ・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
- ・基準日・・・2023年3月31日時点
- ・対象・・・基準日時点で契約開始から60ヶ月以上経過した外貨建一時払保険契約で、
残高（基準日時点の解約返戻金額＋既支払金額）の合計額の上位20銘柄を基準としています。
除外しているもの・・・円建一時払保険。平準払保険。
介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。
基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、当初外貨一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。
損益計算不能な契約。
- ・手数料率は保険会社から提供された商品ごとの手数料率を基準としており、複数の手数料率が設定されている場合はその最大値を参照しています。

<保険商品の保障性について>

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- ・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。

『仕組債の銘柄別運用損益比率（額面金額ベース）』①

- 2023年3月末時点で償還済の1,766銘柄および未償還の620銘柄のうち、運用損益がプラスとなった（未償還分はプラスとなっている）銘柄は78%でした。

2023年3月末時点で償還済の1766銘柄および未償還の620銘柄に関するリターン分布

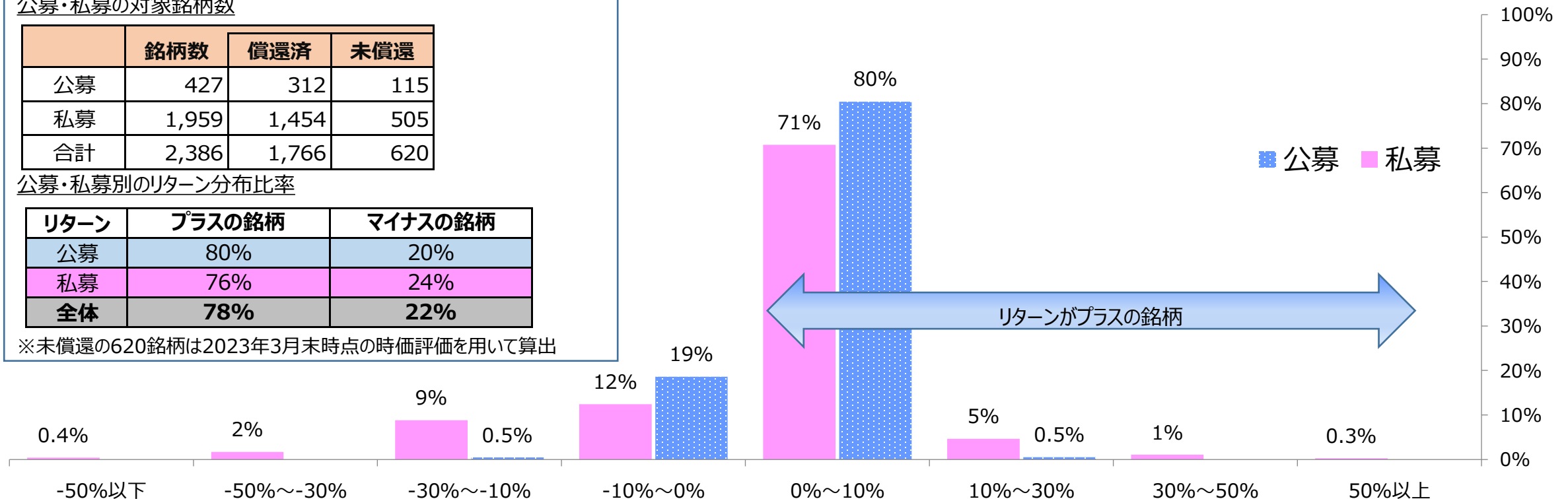
公募・私募の対象銘柄数

	銘柄数	償還済	未償還
公募	427	312	115
私募	1,959	1,454	505
合計	2,386	1,766	620

公募・私募別のリターン分布比率

リターン	プラスの銘柄	マイナスの銘柄
公募	80%	20%
私募	76%	24%
全体	78%	22%

※未償還の620銘柄は2023年3月末時点の時価評価を用いて算出



- 2018年4月以降、2022年3月末までに発行した銘柄を対象としています。
- 2023年3月末時点で償還済の1,766銘柄および未償還の620銘柄の計2,386銘柄を対象としています。
- 対象は「複雑な仕組債」（コーラブル債など「複雑ではない仕組債」は対象外）です。
- リターンの分布は対象銘柄における額面金額ベースでの分布比率を表示しています。
- リターンは、発行日から償還日もしくは基準日までの各銘柄の償還差損益もしくは評価差損益に受取済みの利金を加えた合計を基に算出（年率換算）しています。
- 仕組債に関する流通市場は形成されない場合が多く、一般の債券に比べて流動性が劣ります。したがって、仕組債はお客様が中途売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、短期売買ではなく満期償還まで保有されることを前提にしている商品です。

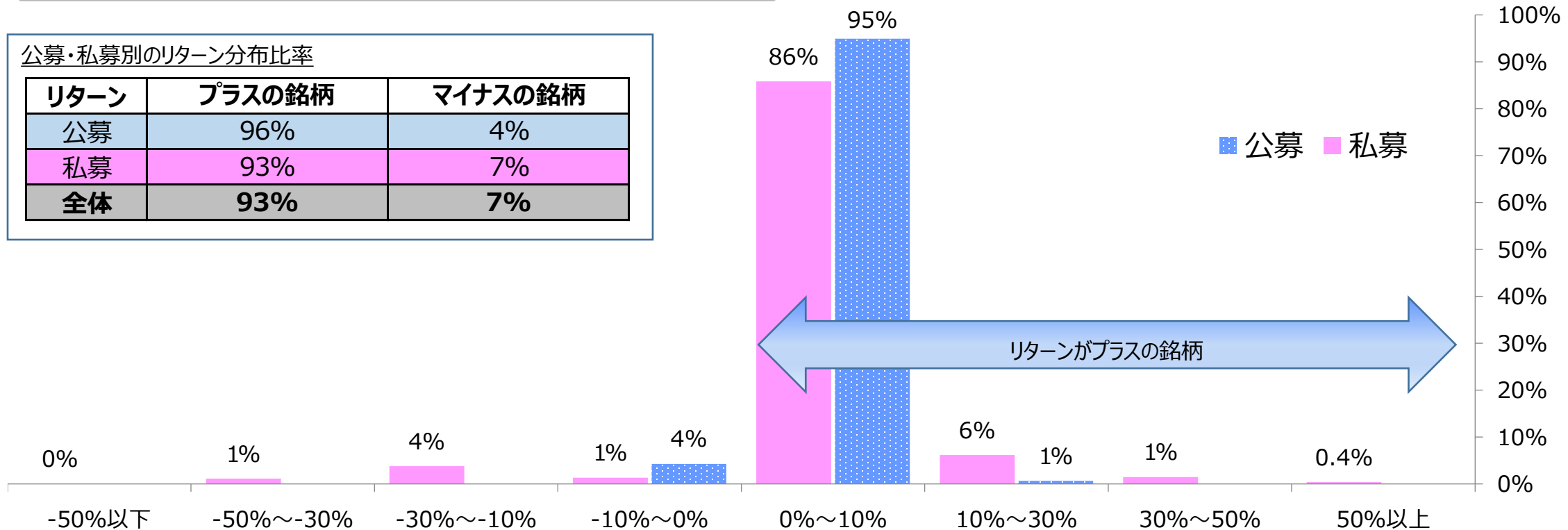
『仕組債の銘柄別運用損益比率（額面金額ベース）』②

- 2023年3月末時点で償還済の1,766銘柄のうち、運用損益がプラスであった銘柄は93%でした。

2023年3月末時点で償還済の1766銘柄に関するリターン分布

公募・私募別のリターン分布比率

リターン	プラスの銘柄	マイナスの銘柄
公募	96%	4%
私募	93%	7%
全体	93%	7%



- 2018年4月以降、2022年3月末までに発行した銘柄を対象としています。
- 2023年3月末時点で償還済の1,766銘柄を対象としています。
- 対象は「複雑な仕組債」（コーラブル債など「複雑ではない仕組債」は対象外）です。
- リターンの分布は対象銘柄における額面金額ベースでの分布比率を表示しています。
- リターンは、発行日から償還日もしくは基準日までの各銘柄の償還差損益もしくは評価差損益に受取済みの利金を加えた合計を基に算出（年率換算）しています。
- 仕組債に関する流通市場は形成されない場合が多く、一般の債券に比べて流動性が劣ります。したがって、仕組債はお客さまが中途売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、短期売買ではなく満期償還まで保有されることを前提にしている商品です。

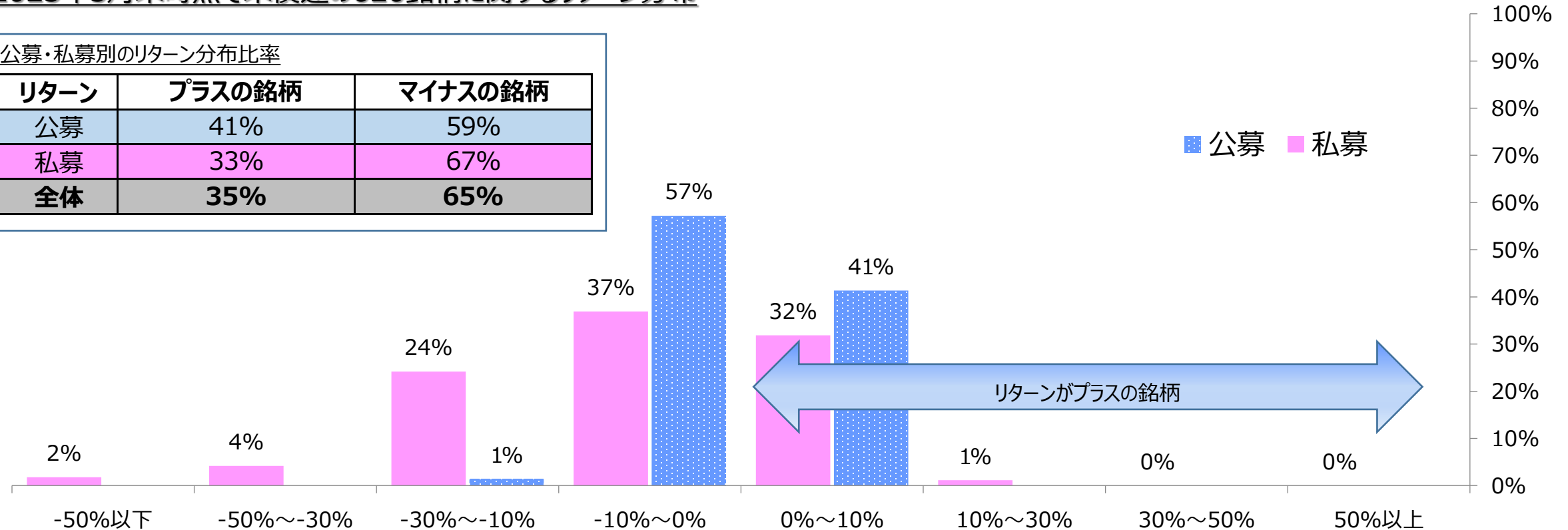
『仕組債の銘柄別運用損益比率（額面金額ベース）』③

●2023年3月末時点で未償還の620銘柄のうち、運用損益がプラスとなっている銘柄は35%でした。

2023年3月末時点で未償還の620銘柄に関するリターン分布

公募・私募別のリターン分布比率

リターン	プラスの銘柄	マイナスの銘柄
公募	41%	59%
私募	33%	67%
全体	35%	65%



- 2018年4月以降、2022年3月末までに発行した銘柄を対象としています。
- 2023年3月末時点で未償還の620銘柄を対象としています。
- 対象は「複雑な仕組債」（コーラブル債など「複雑ではない仕組債」は対象外）です。
- リターンの分布は対象銘柄における額面金額ベースでの分布比率を表示しています。
- リターンは、発行日から償還日もしくは基準日までの各銘柄の償還差損益もしくは評価差損益に受取済みの利金を加えた合計を基に算出（年率換算）しています。
- 仕組債に関する流通市場は形成されない場合が多く、一般の債券に比べて流動性が劣ります。したがって、仕組債はお客さまが中途売却を希望される際に必ずしも換金できるとは限りませんので、短期売買ではなく満期償還まで保有されることを前提にしている商品です。

【ご参考】仕組債の参照資産別リスク・リターン

『仕組債の参照資産別リスク・リターン』

- 当行グループでは、他の運用商品との比較が行えるように、今回新たに仕組債の参照資産別のリスク・リターンについて、情報提供を行います。
- 2023年3月末時点での、仕組債の参照資産別10種類の平均リスク・平均リターンは、以下の通りとなっています。平均リスク11.95%／平均リターン2.34%。

● 仕組債 参照資産別 10種類 2023年3月末

参照資産	リスク	リターン			銘柄数
		平均	最大値	最小値	
米株指数	5.04%	1.13%	7.20%	-11.49%	27
ユーロ Stocks	17.74%	2.72%	5.93%	0.81%	7
日経平均	7.61%	2.49%	11.50%	-5.54%	261
日経&SP500	9.00%	1.35%	18.02%	-5.26%	124
EB債	14.80%	2.81%	90.00%	-61.92%	1,586
クレジットリンク	2.49%	-1.14%	1.95%	-2.25%	6
円/豪ドルデュアル	3.73%	0.99%	1.50%	-15.71%	63
円/米ドルデュアル	1.81%	0.68%	1.50%	-4.27%	41
豪ドルスーパーボール	4.86%	-0.32%	1.98%	-2.74%	6
米ドルスーパーボール	8.21%	0.11%	10.10%	-3.37%	18
仕組債 加重平均	11.95%	2.34%			2,139

■ 以下の銘柄を対象としています。

- ・2018年4月以降2022年3月までに発行した銘柄
- ・2022年4月以降2023年3月までに発行した銘柄のうち2023年3月末時点で償還済の銘柄
- ・2023年3月末時点で償還済の1,766銘柄および未償還の373銘柄の計2,139銘柄が対象です。
- ・対象は「複雑な仕組債」とし、コープ債など複雑でない仕組債は対象外です。

■ リターン：発行日から償還日もしくは基準日までの各銘柄の償還差損益もしくは評価差損益に受取済みの利金を加えた合計を基に算出（年率換算）しています。

■ リスク：発行日から償還日もしくは基準日までの月次リターンの標準偏差（年率換算）を表しています。

